

宮古商工会議所経営発達支援事業「地域の経済動向調査」

# 景況調査アンケート報告書

## 第 2 回

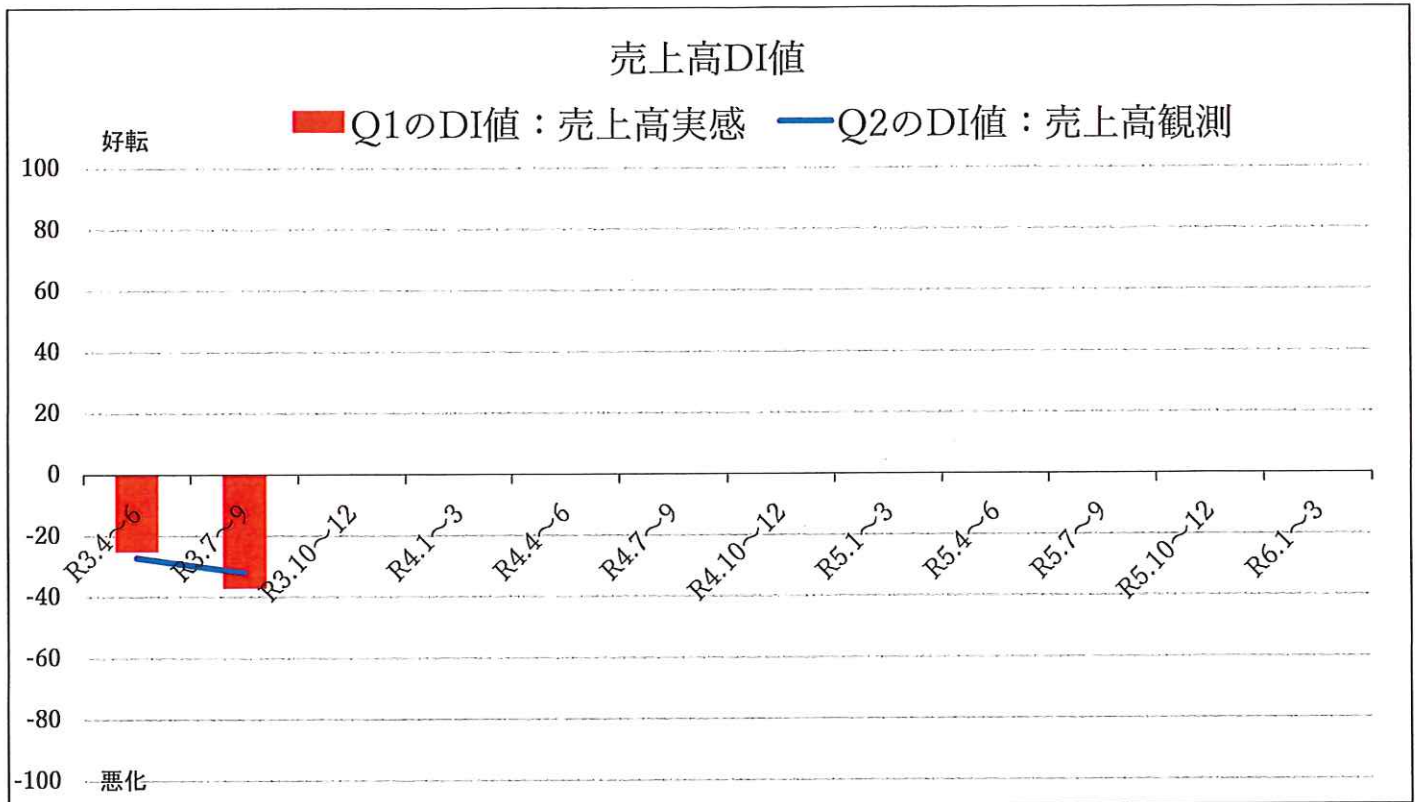
1. 目的 地域の景況感と事業所の経営状況を把握するため四半期毎の調査を行い、地域内の現況を把握する。
2. 調査期間 令和3年10月1日～令和3年10月15日
3. 調査数 宮古商工会議所8部会より30事業所を選出。計240件。  
内訳 ①卸売業 11 ②小売業 40 ③製造業 40 ④建設業 50  
⑤宿泊業 9 ⑥飲食業 14 ⑦理美容業 15  
⑧サービス業 38 ⑨金融保険業 10  
⑩その他（農林漁業・運輸業・不動産業等）13
4. 調査方法 郵送調査。回収は、郵送、FAX、電話、面談による。
5. 調査内容 定期設問8項目・時事設問3項目
6. 回答状況 初速件数（一週間以内の回答） 155件（≒65%、+100）  
最終件数 240件 内、小規模事業者 85件（≒35%、▲100）
7. 測定方法 日本銀行の企業短期経済観測調査（日銀短観）の業況判断DIに準ずる。調査対象企業に「①好転」「②変わらず」「③悪化」という質問を行い、「①好転」の回答割合から「③悪化」の回答割合を差し引く。この際のDI値は-100から+100の間を推移し、プラスのときは景気拡大期（好景気）、マイナスのときは景気減速期（不景気）と判断される。 ※DI＝景気動向指数
8. 別添資料 アンケート集計結果

宮古商工会議所経営支援課

## 【全体】

Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

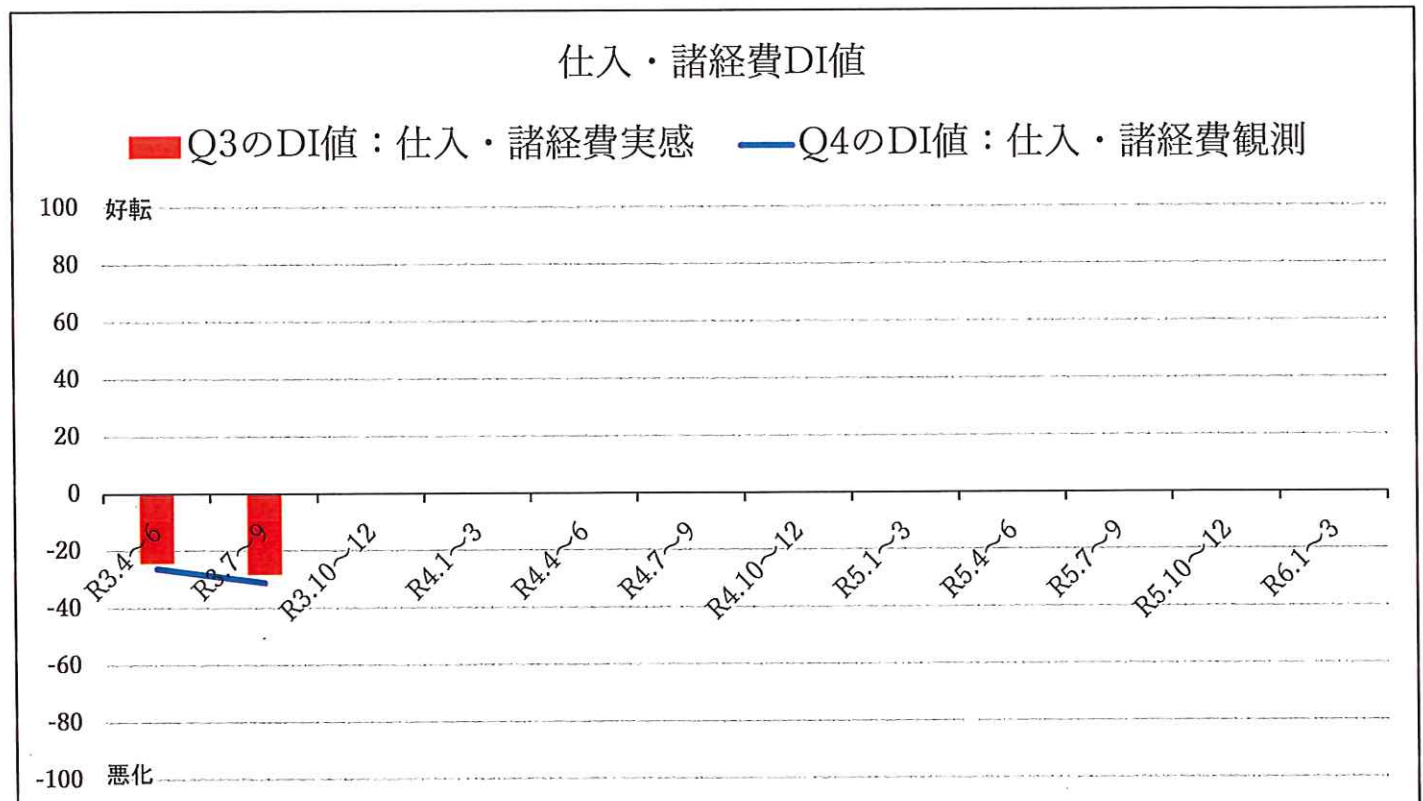
Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？



□売上高実感のD I値は▲37ポイント（-12悪化）、観測のD I値は▲32ポイント（-5悪化）。  
不況感拡大も改善気配。

Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

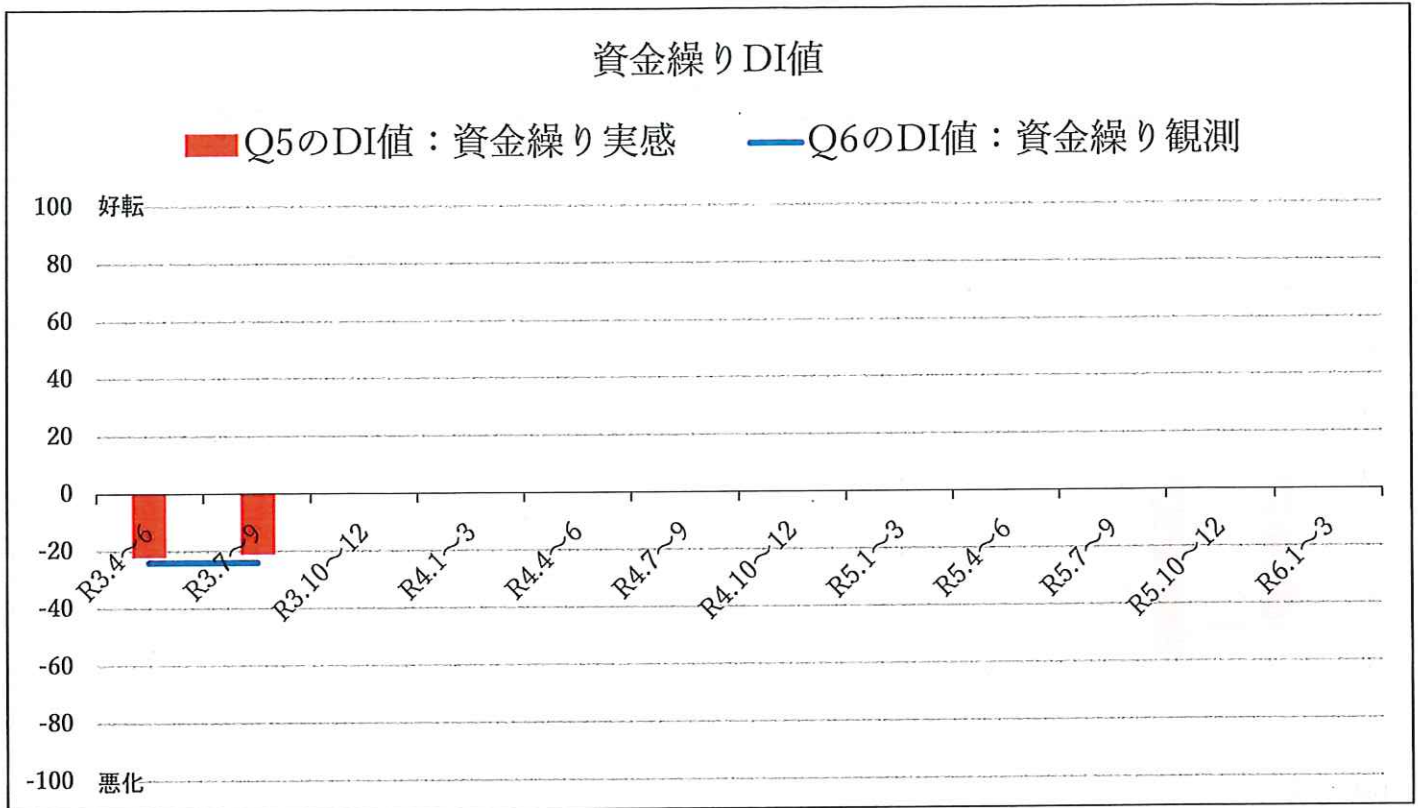
Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？



□仕入・諸経費実感のD I値は▲28ポイント（-4悪化）、観測のD I値は▲31ポイント（-5悪化）。  
実感、観測ともに若干の悪化。

Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

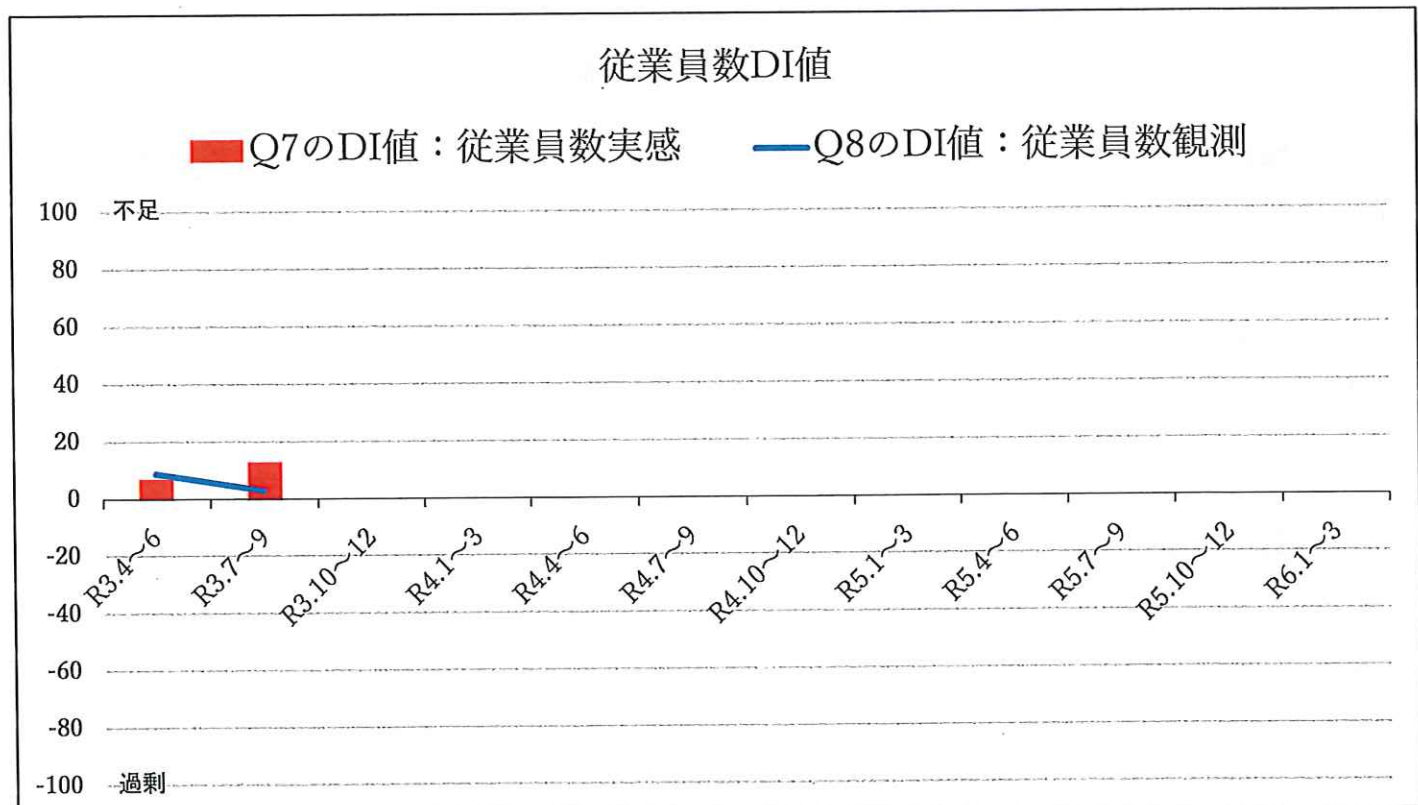
Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？



□資金繰り実感のDI値は▲ポイント21（-1悪化）、観測のDI値は▲21ポイント（-3悪化）。  
充分ではない実感が継続。

Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

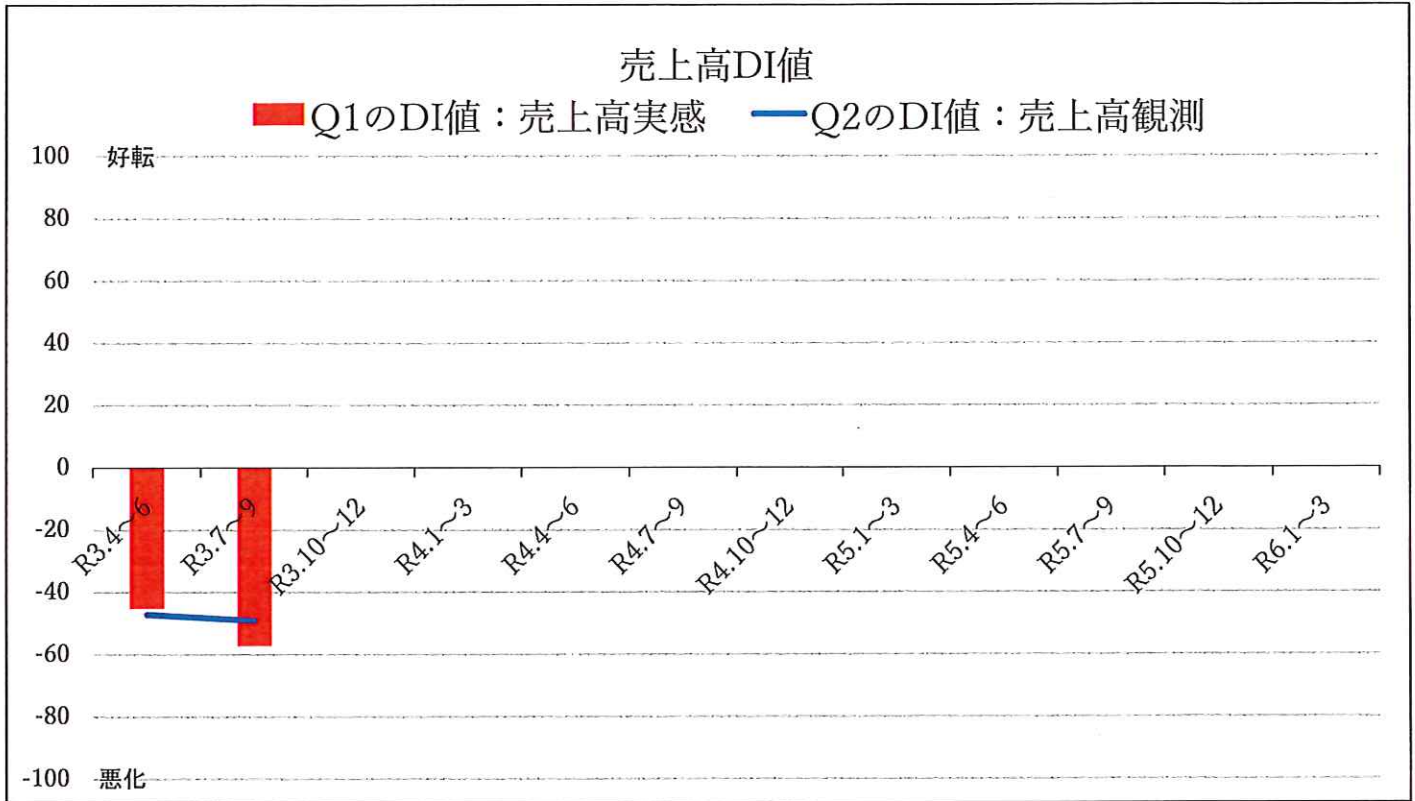
Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



□従業員数不足の実感DI値は13ポイント（+6）、観測のDI値は3ポイント（-6）。  
現状人手不足感増したが、適正化に近づく観測。

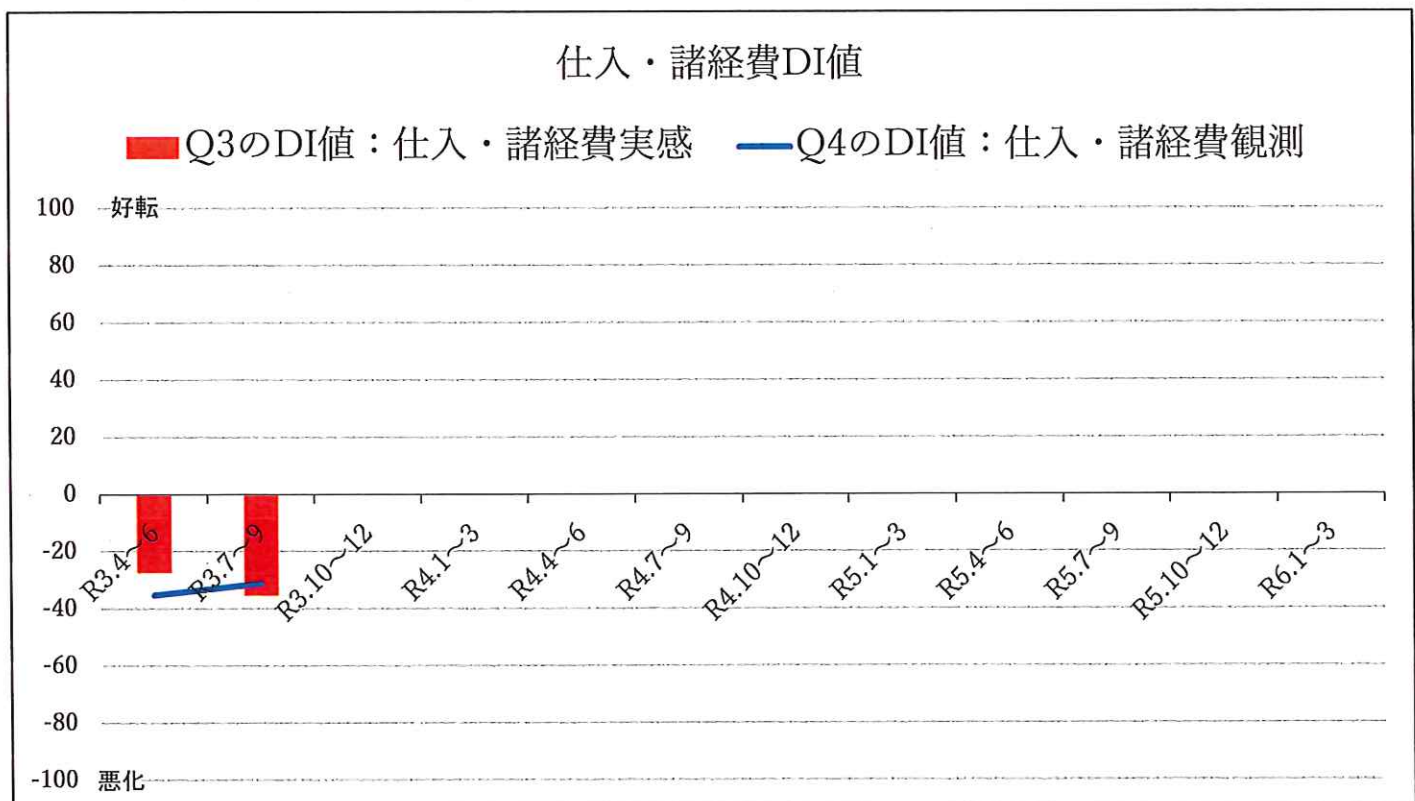
## 【卸売業・小売業】

- Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？  
 Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？



□売上高実感のD I 値は▲57ポイント（-12悪化）、観測のD I 値は▲49ポイント（-2悪化）。  
 不況感拡大も改善気配。

- Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？  
 Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？

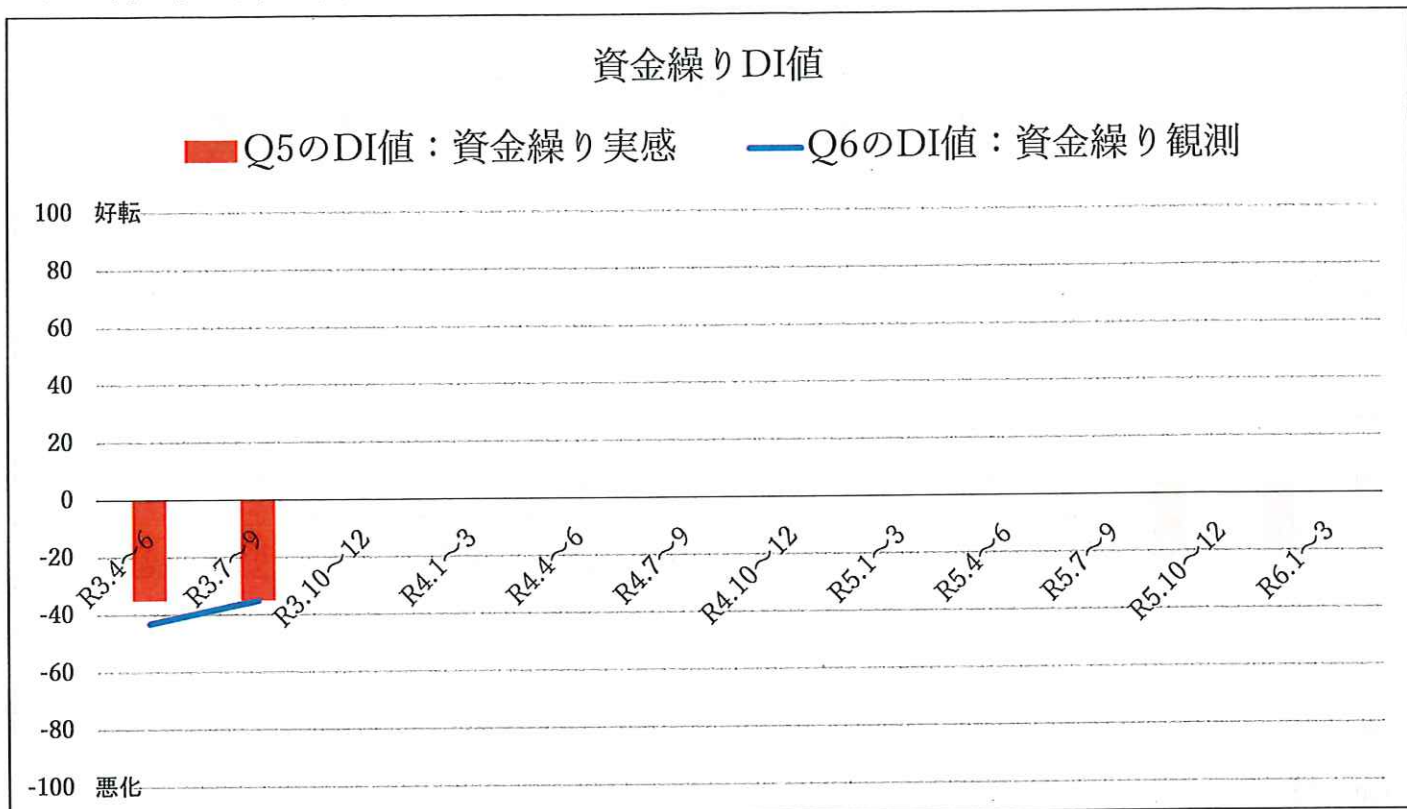


□仕入・諸経費実感のD I 値は▲35ポイント（-8悪化）、観測のD I 値は▲31ポイント（+4好転）。  
 現状若干の悪化も、持ち直し気配。



Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

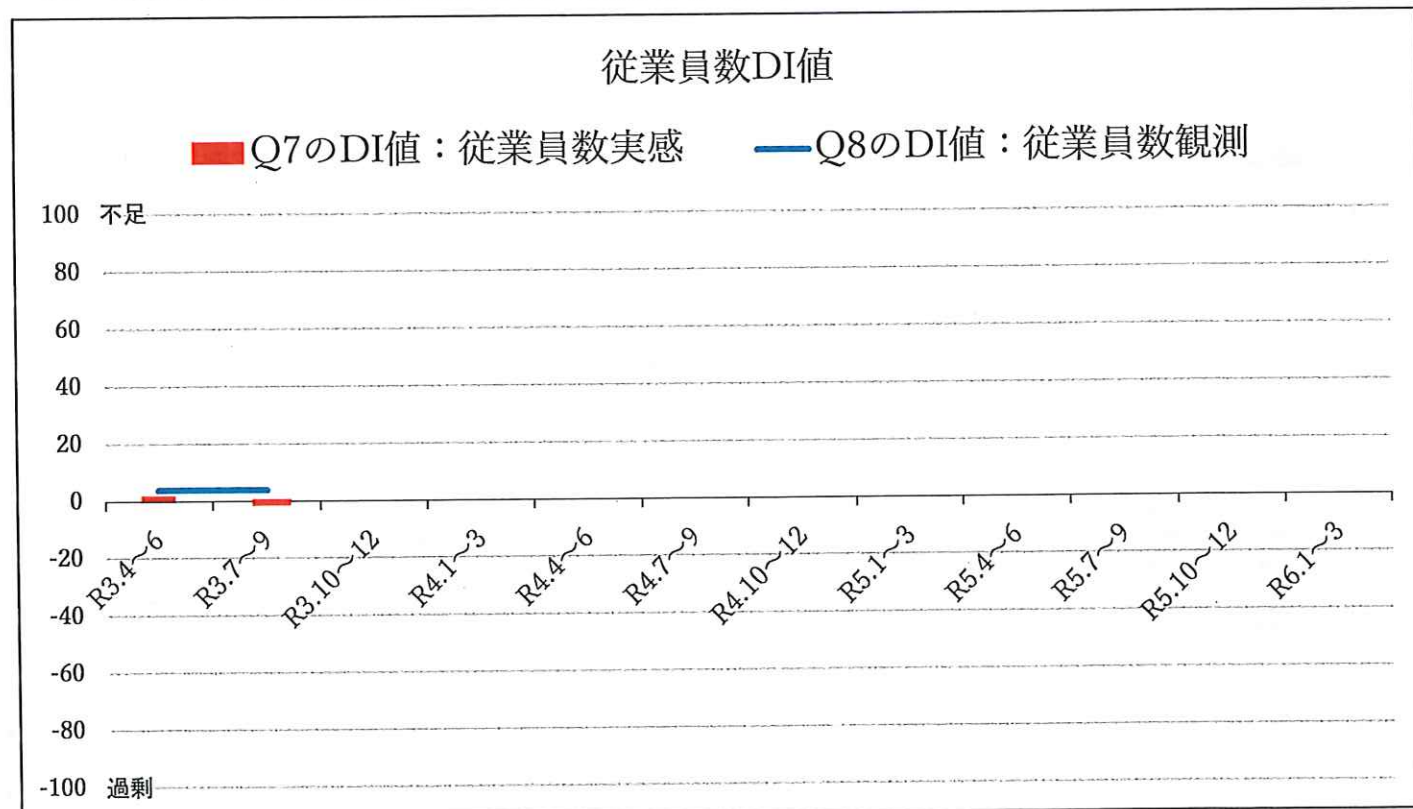
Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？



□資金繰り実感のDI値は▲35ポイント（±0）、観測のDI値は▲35ポイント（+8好転）。  
厳しさ継続も、改善気配漂う。

Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？

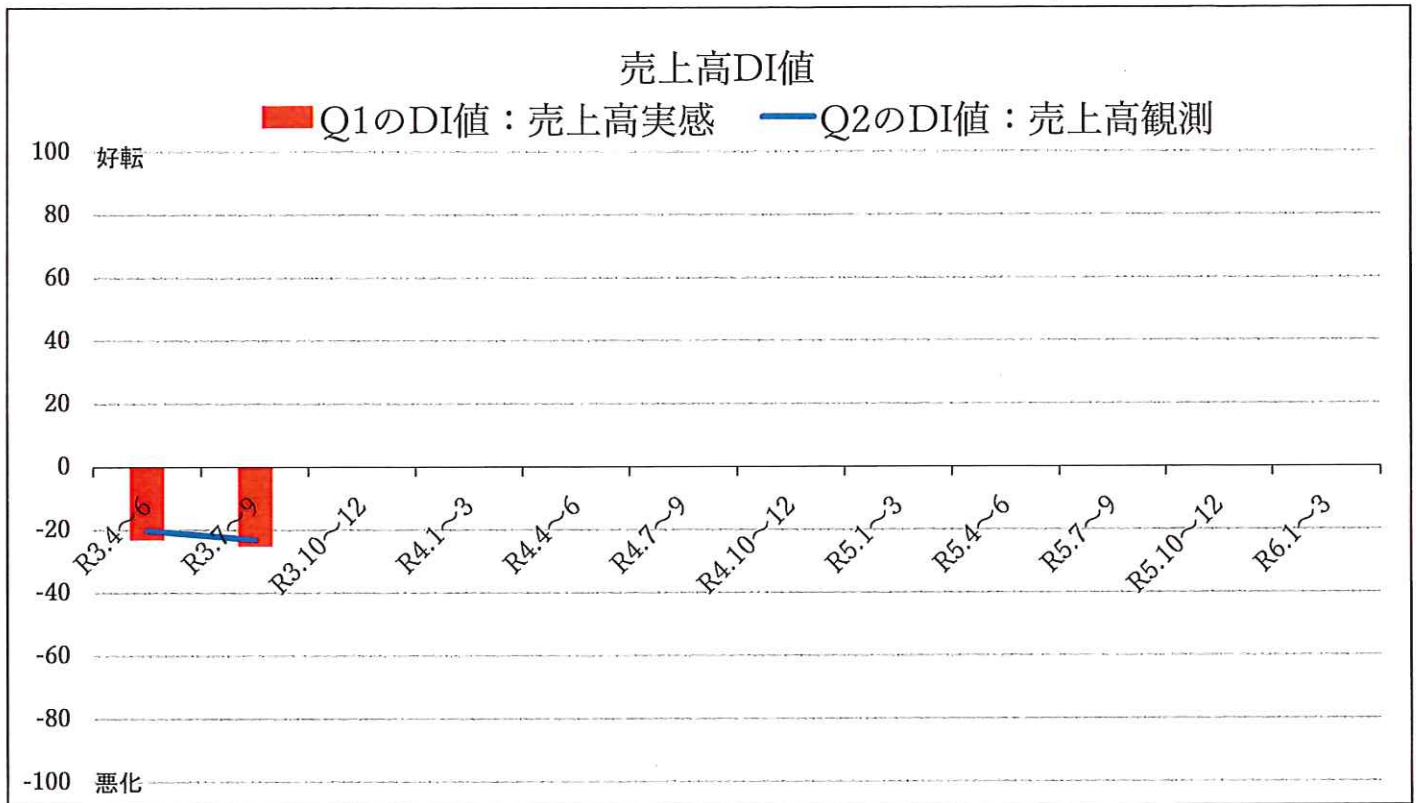


□従業員数不足の実感DI値は0ポイント（-2）、観測のDI値は4ポイント（±0）。  
人手はほぼ適正、今後も同傾向。

## 【製造業】

Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

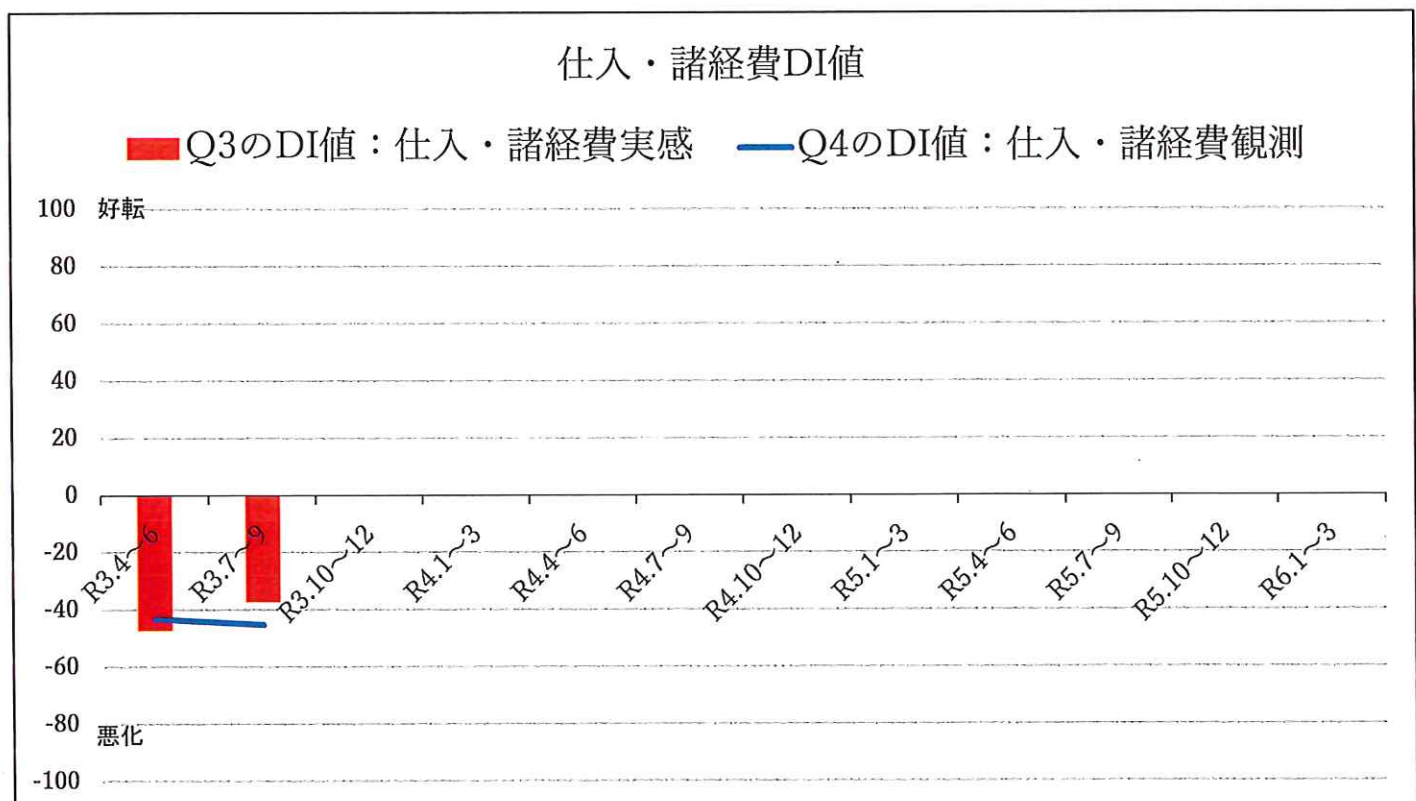
Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？



□売上高実感のD I 値は▲25ポイント（-2悪化）、観測のD I 値は▲23ポイント（-3悪化）。  
若干の不安感あり。

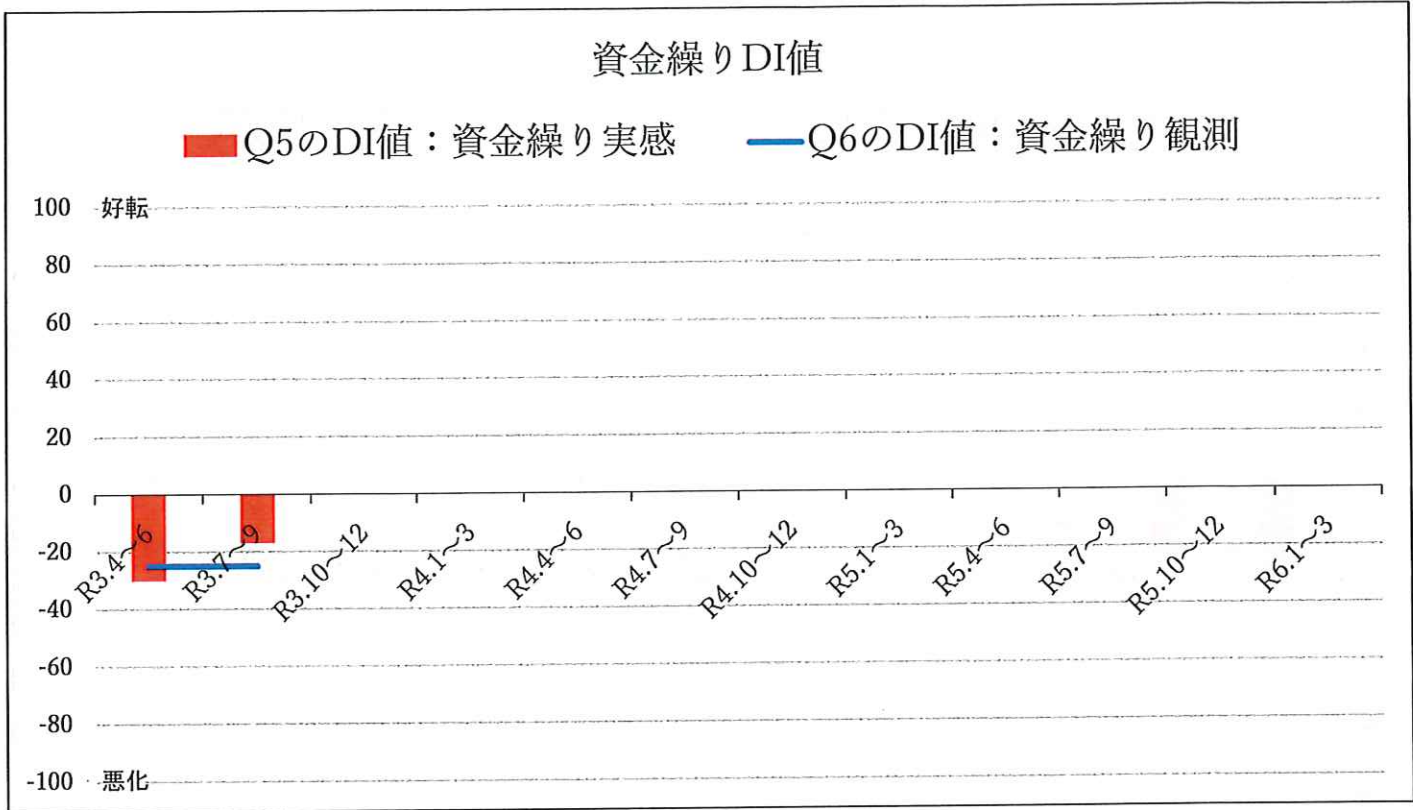
Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？



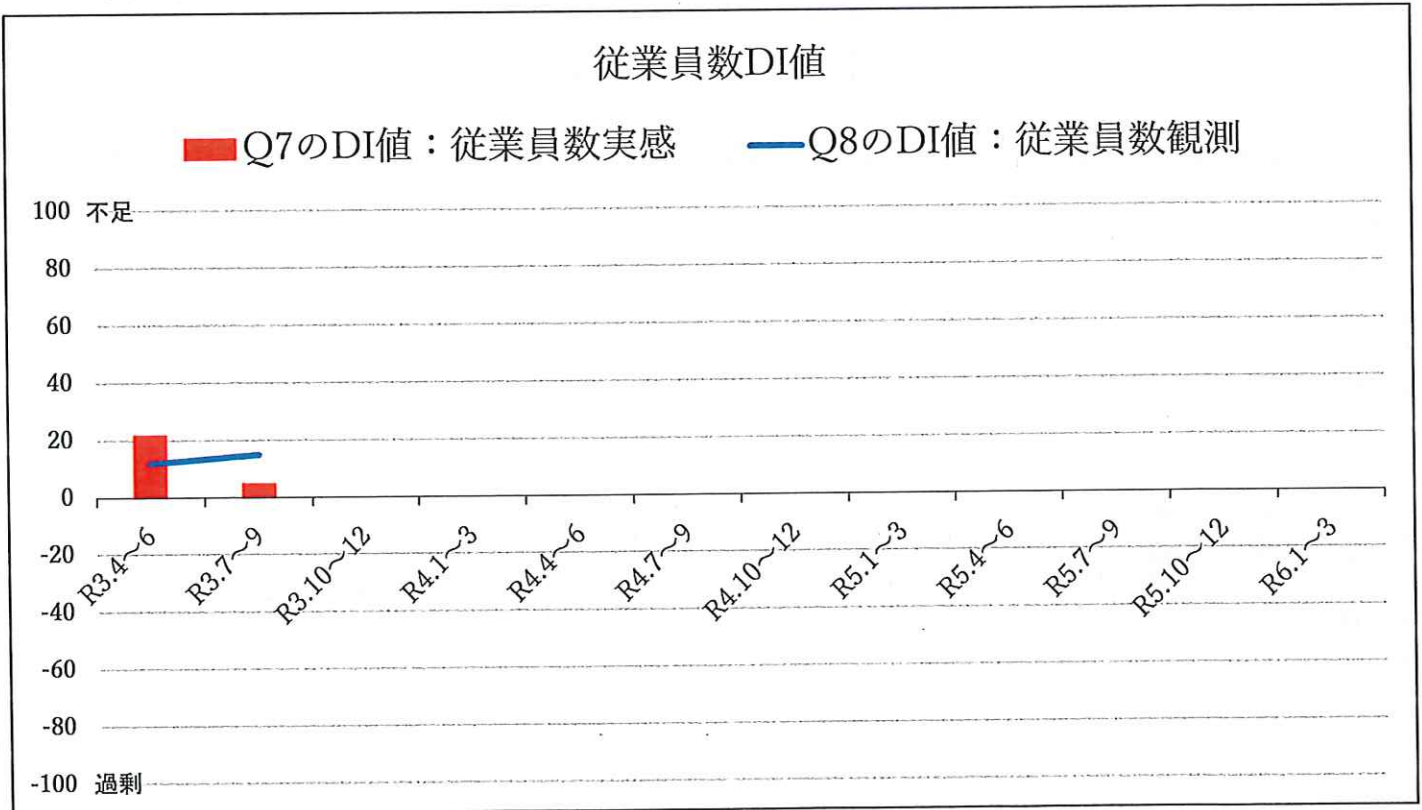
□仕入・諸経費実感のD I 値は▲37ポイント（+10好転）、観測のD I 値は▲45ポイント（-2悪化）。  
企業努力の結果が窺えるも、慎重姿勢。

Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？  
 Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？



□資金繰り実感のD I 値は▲17ポイント（+13好転）、観測のD I 値は▲25ポイント（±0）。  
 顕著な改善傾向も、注意観測続く。

Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？  
 Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



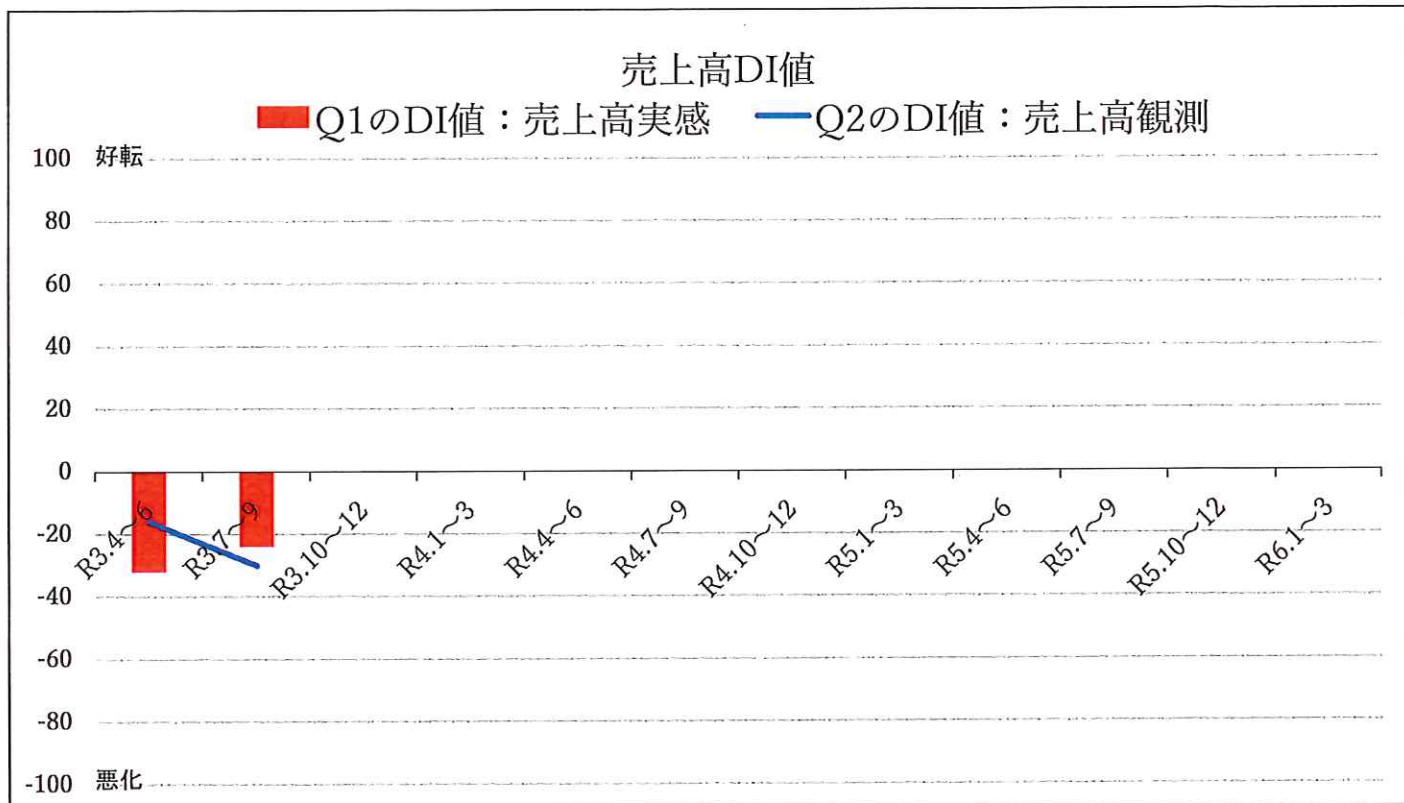
□従業員数不足の実感D I 値は5ポイント（-17）、観測のD I 値は5ポイント（+3）。  
 人手不足解消に近づくも、不足感は微増。



## 【建設業】

Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

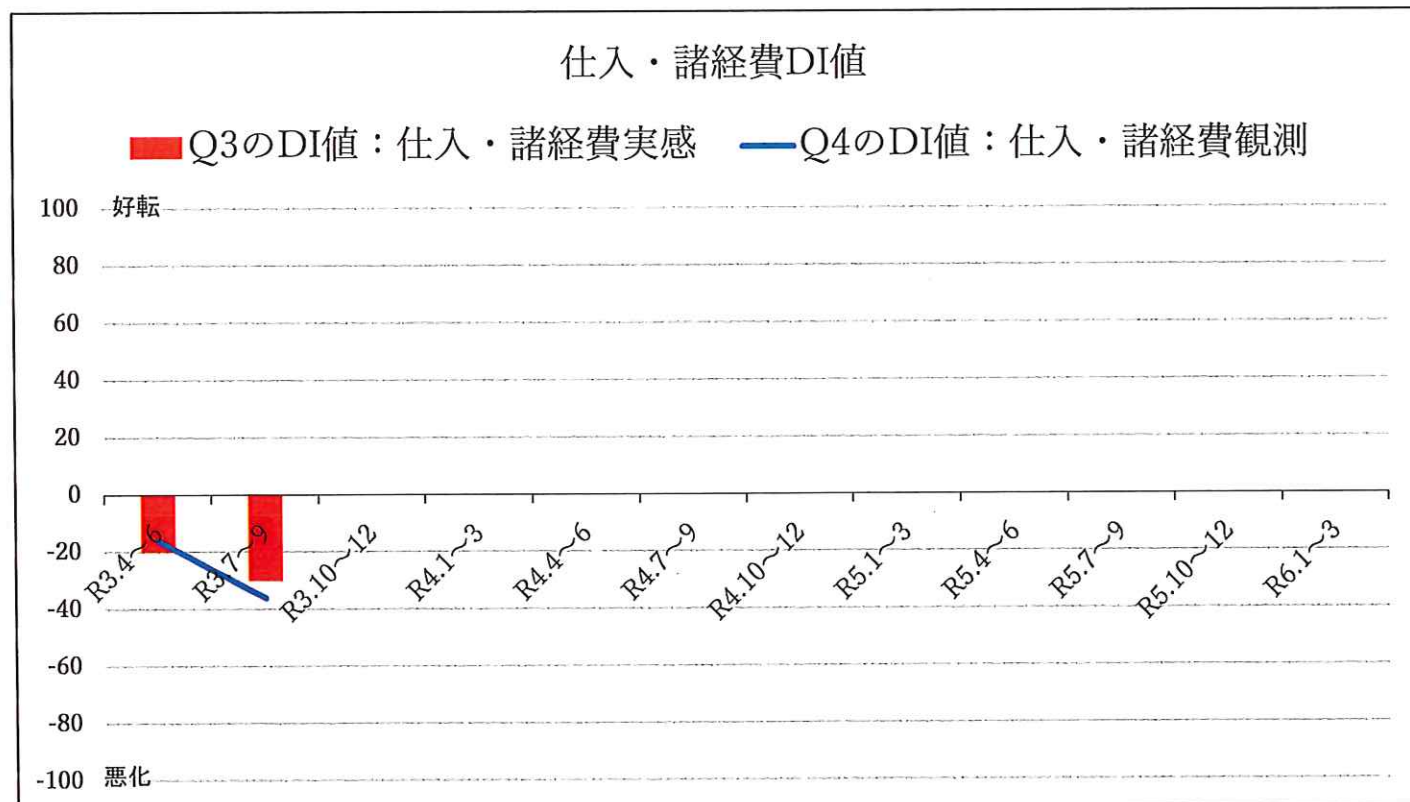
Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？



□売上高実感のDI値は▲24ポイント（+8好転）、観測のDI値は▲30ポイント（-14悪化）。  
現状好転も先行きの不安感が強く漂う。

Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？

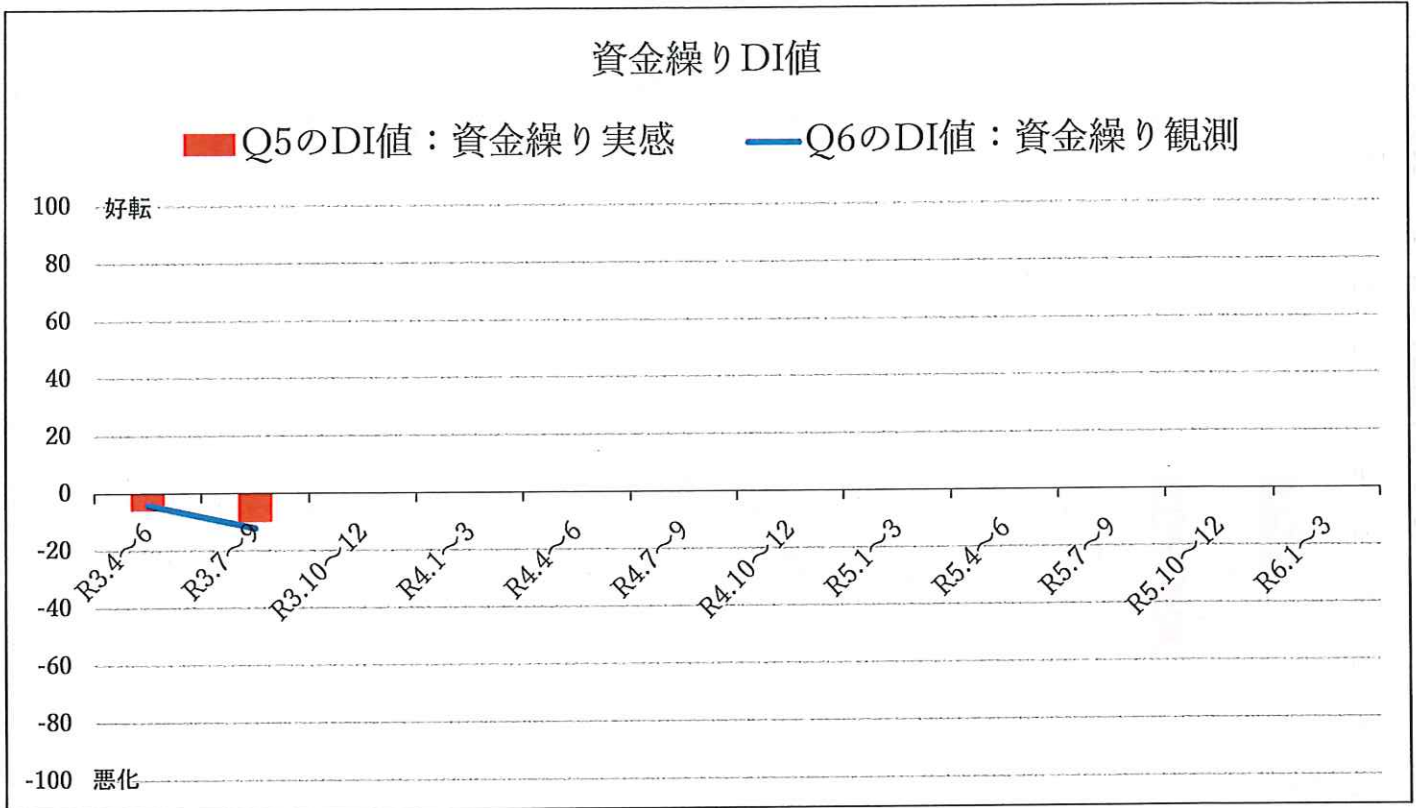


□仕入・諸経費実感のDI値は▲30ポイント（-10悪化）、観測のDI値は▲36ポイント（-18悪化）。  
コスト高感倍増、先行きも大きな懸念示す。



Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

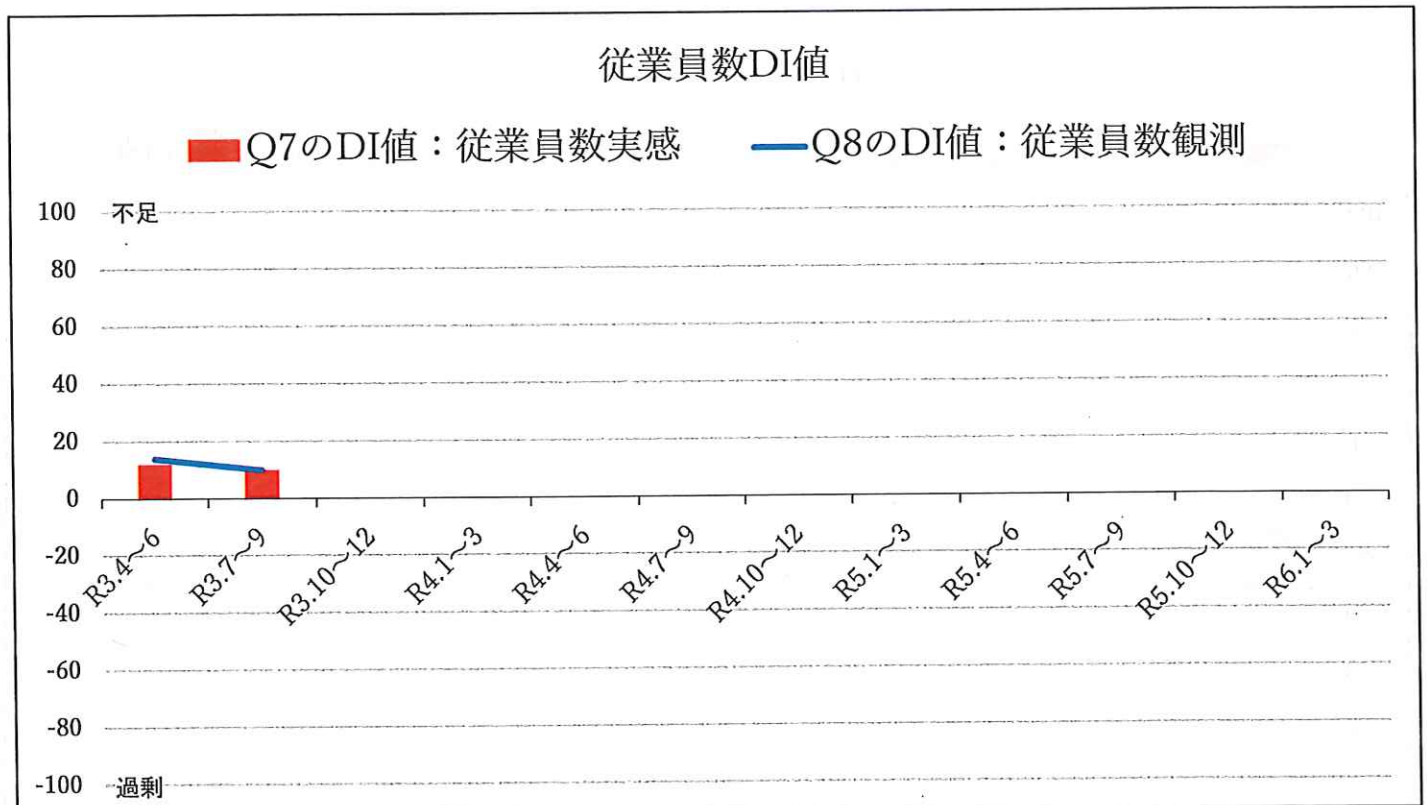
Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？



□資金繰り実感のD I 値は▲10ポイント（-4悪化）、観測のD I 値は▲12ポイント（-8悪化）。  
落ち込みの兆し、不安も覗く。

Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？

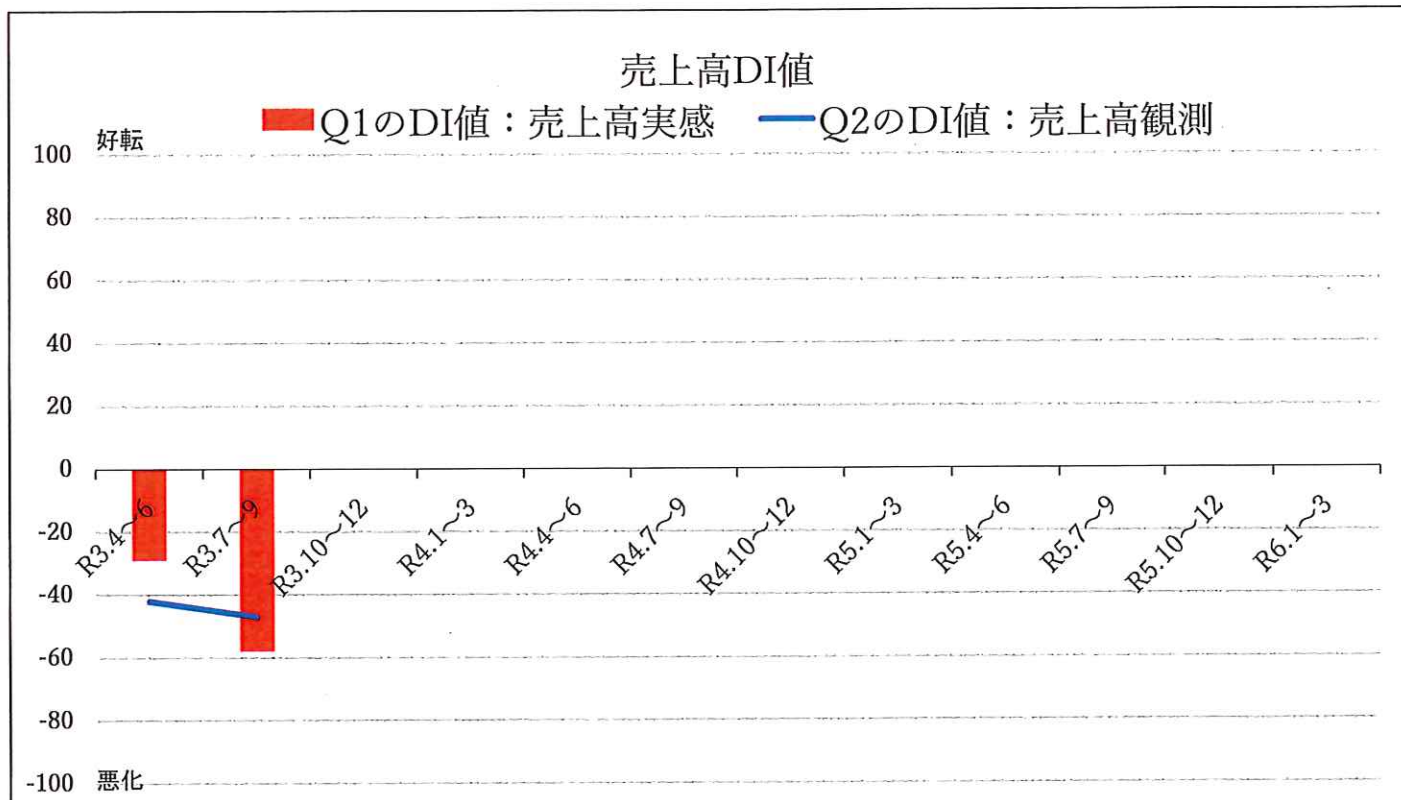


□従業員数不足の実感D I 値は10ポイント（-12）、観測のD I 値は10ポイント（-4）。  
人手は適正傾向、今後も同様。

## 【宿泊業・飲食業・理美容業】

Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

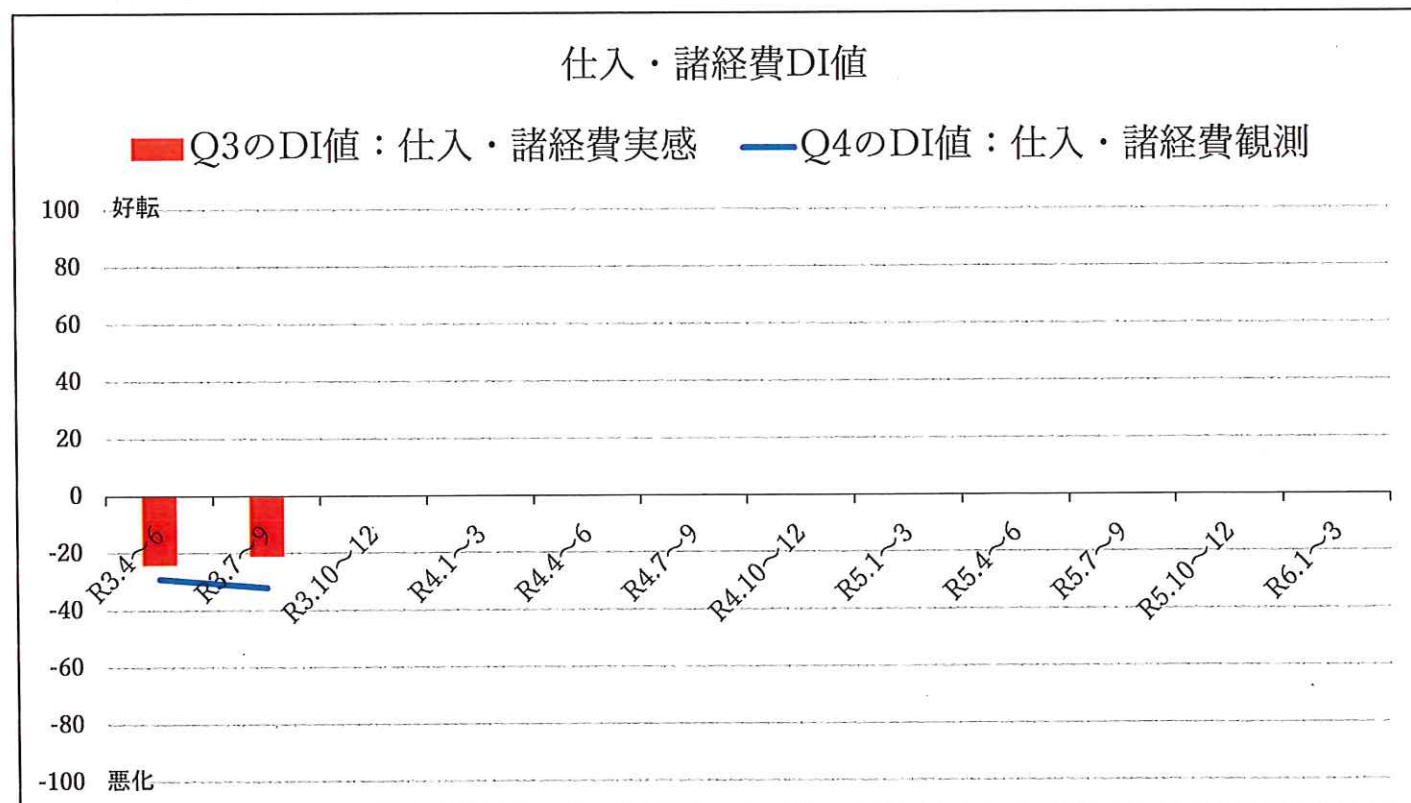
Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？



□売上高実感のD I 値は▲58ポイント（-29悪化）、観測のD I 値は▲47ポイント（-5悪化）。  
不況感倍増、先行き不安感も根強い。

Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

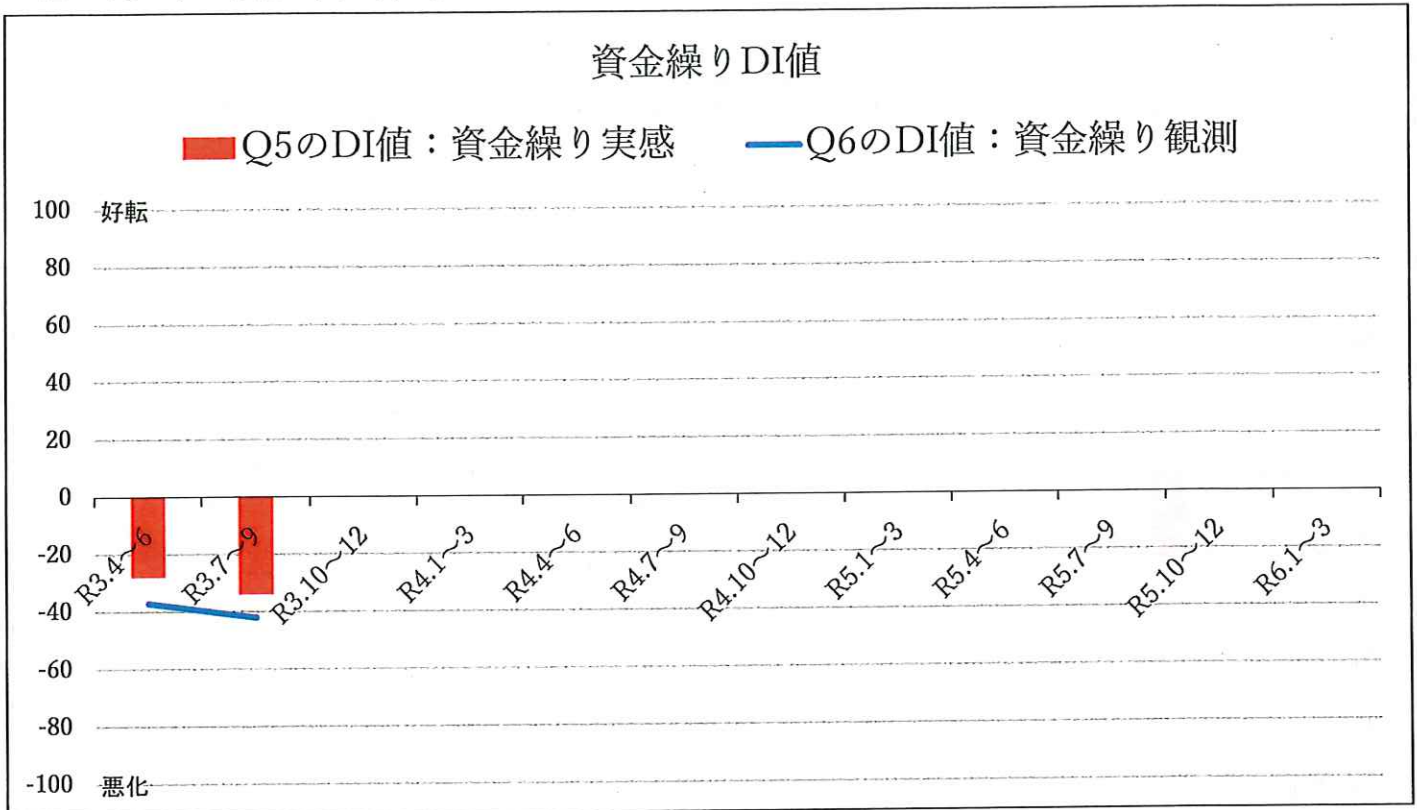
Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？



□仕入・諸経費実感のD I 値は▲21ポイント（+3好転）、観測のD I 値は▲32ポイント（-3悪化）。  
コスト抑制も不安感続く。

Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

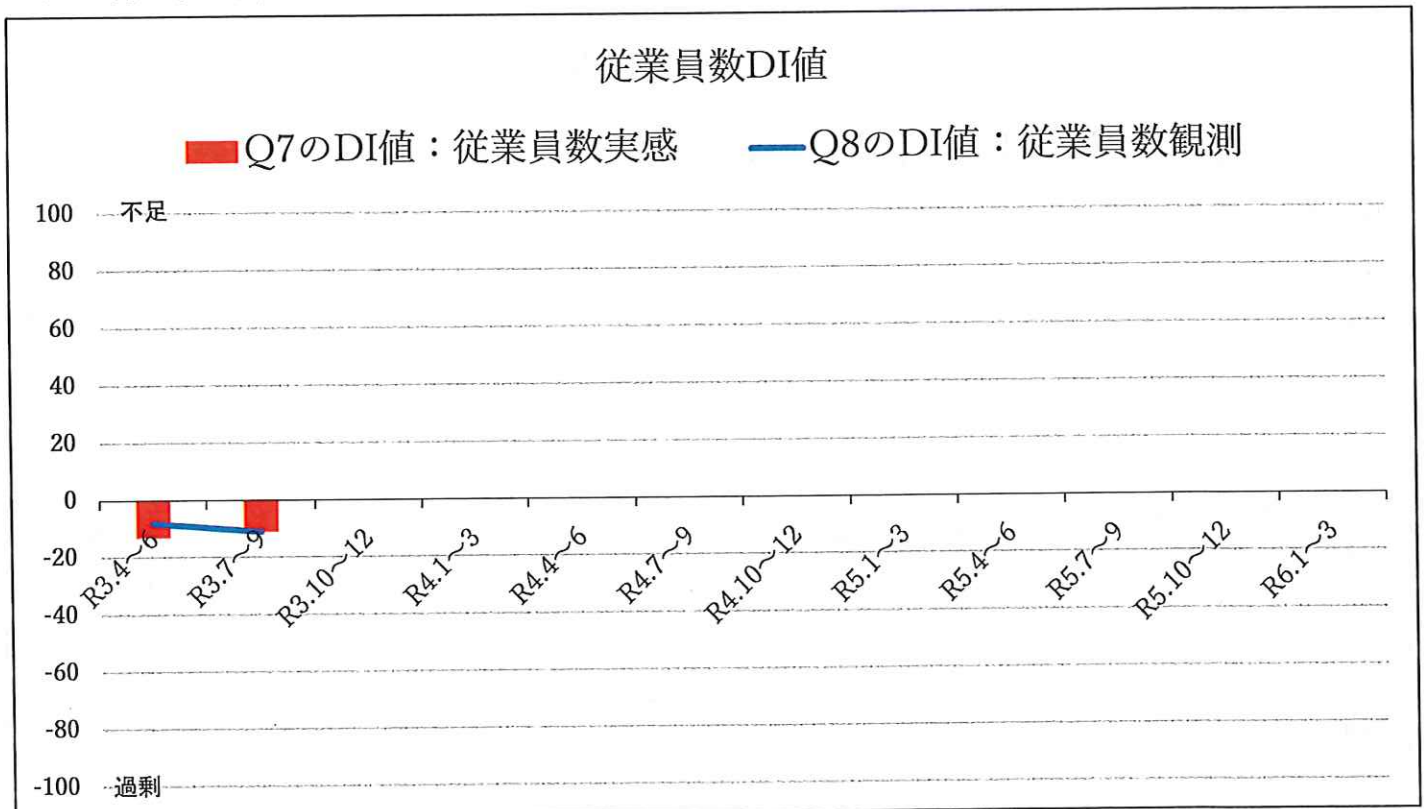
Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？



□資金繰り実感のD I 値は▲34ポイント（-6悪化）、観測のD I 値は▲42ポイント（-5悪化）。  
手持ち資金の減少窺え、今後の不安も続く。

Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



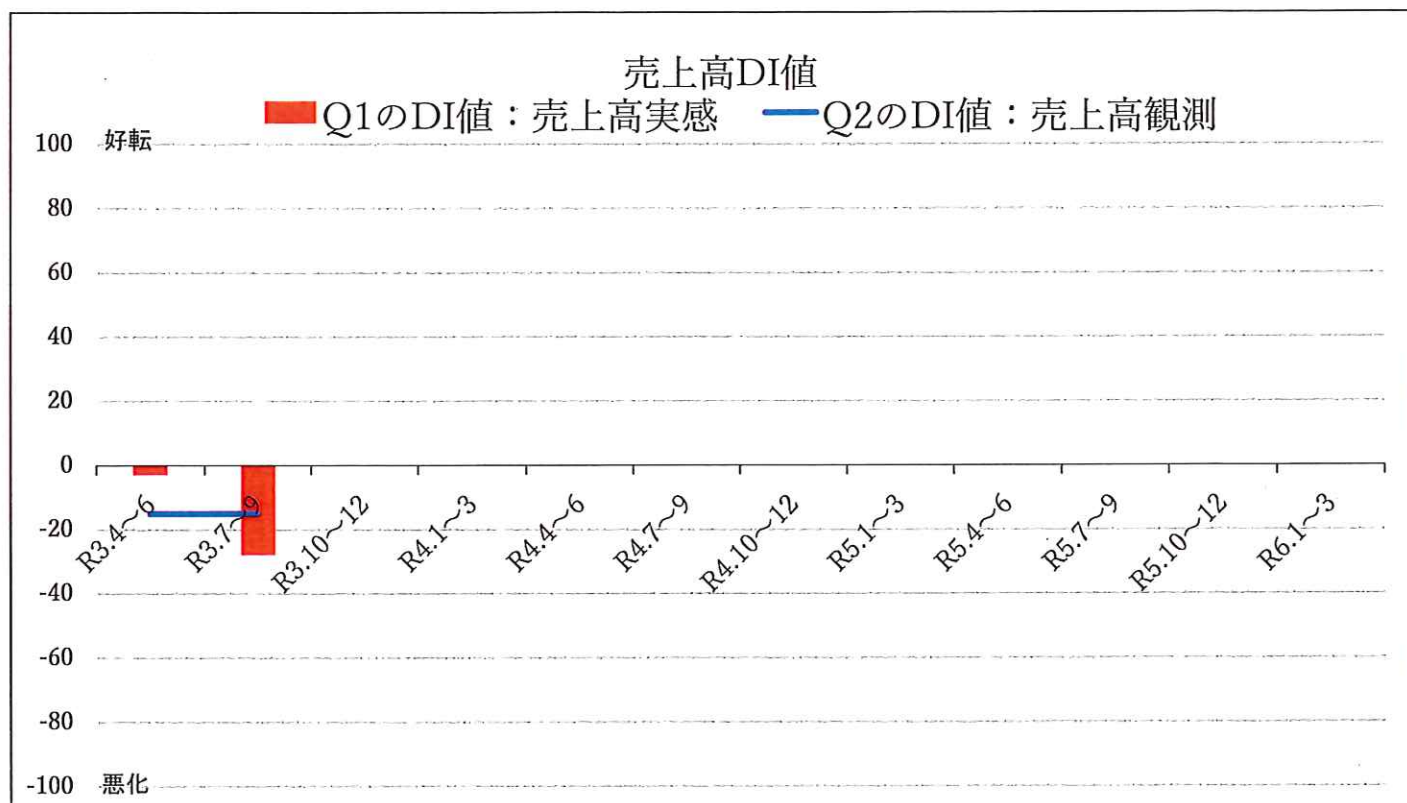
□従業員数過剰の実感D I 値は11ポイント（-2）、観測のD I 値は11ポイント（+3）。  
人手過剰感微減、今後も人余り感あり。



## 【サービス業・金融業・その他】

Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？

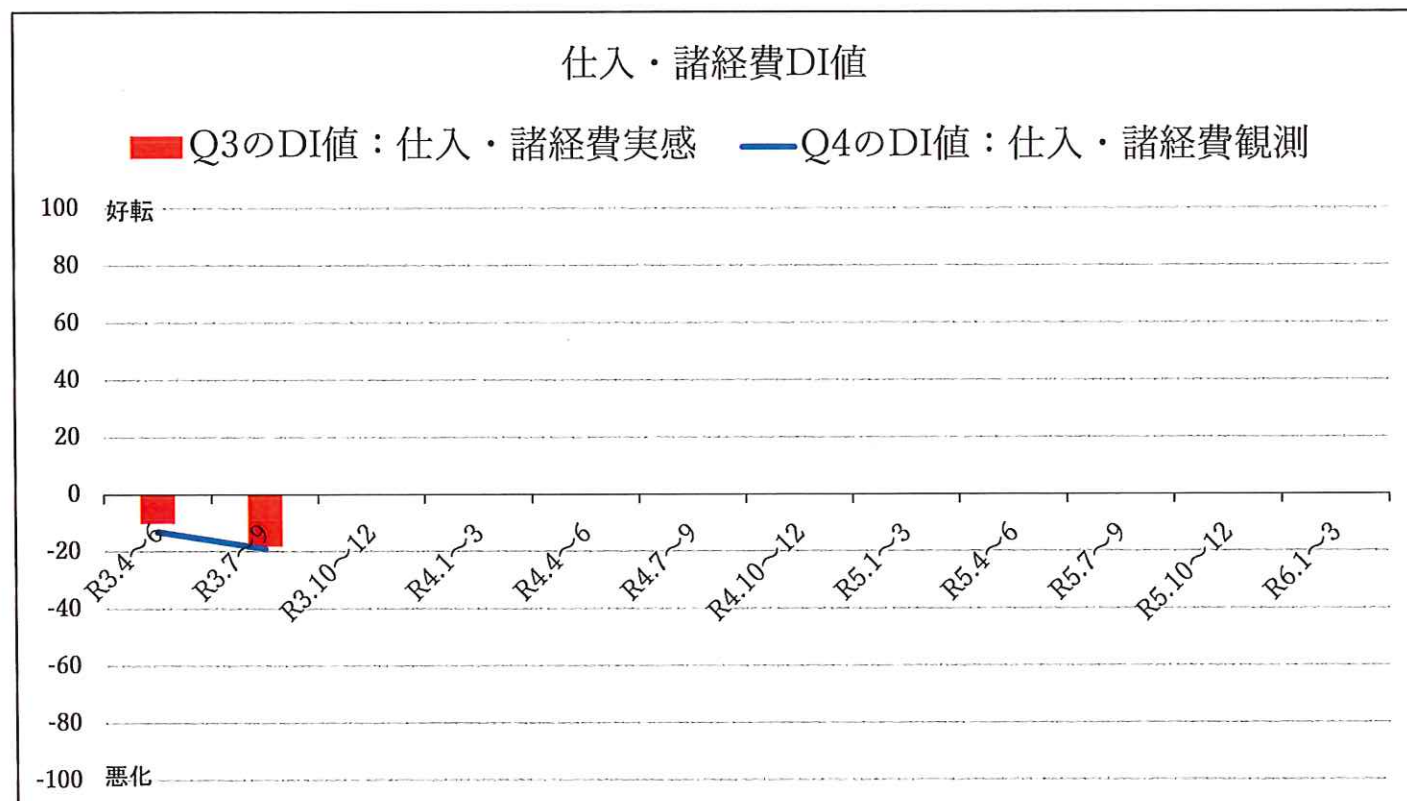


□売上高実感のDI値は▲28ポイント（-25悪化）、観測のDI値は▲15ポイント（±0）。

不況感が大きく悪化も、一時的な状況。

Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？

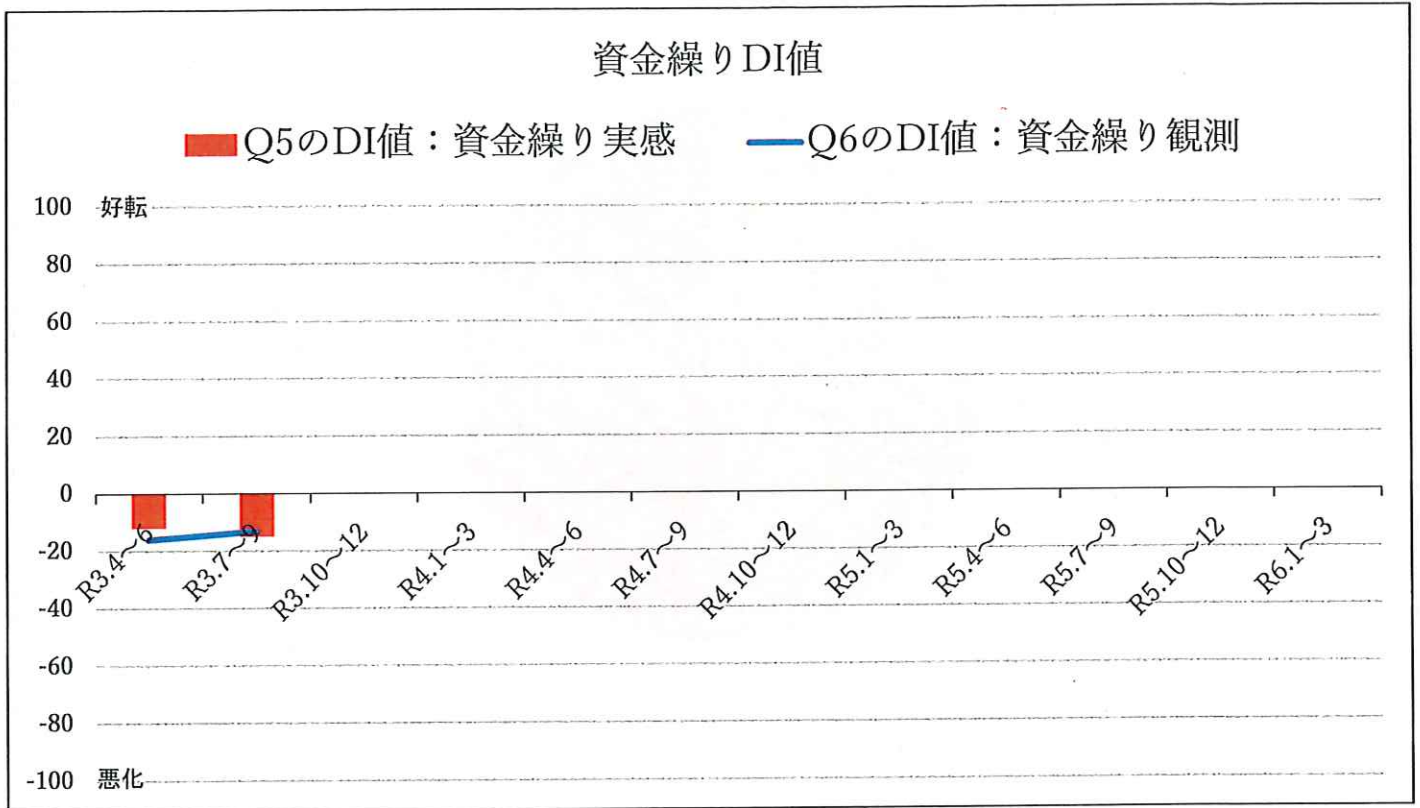


□仕入・諸経費実感のDI値は▲18ポイント（-8悪化）、観測のDI値は▲19ポイント（-6悪化）。

現状、見込みともにジリジリした圧迫感あり。

Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

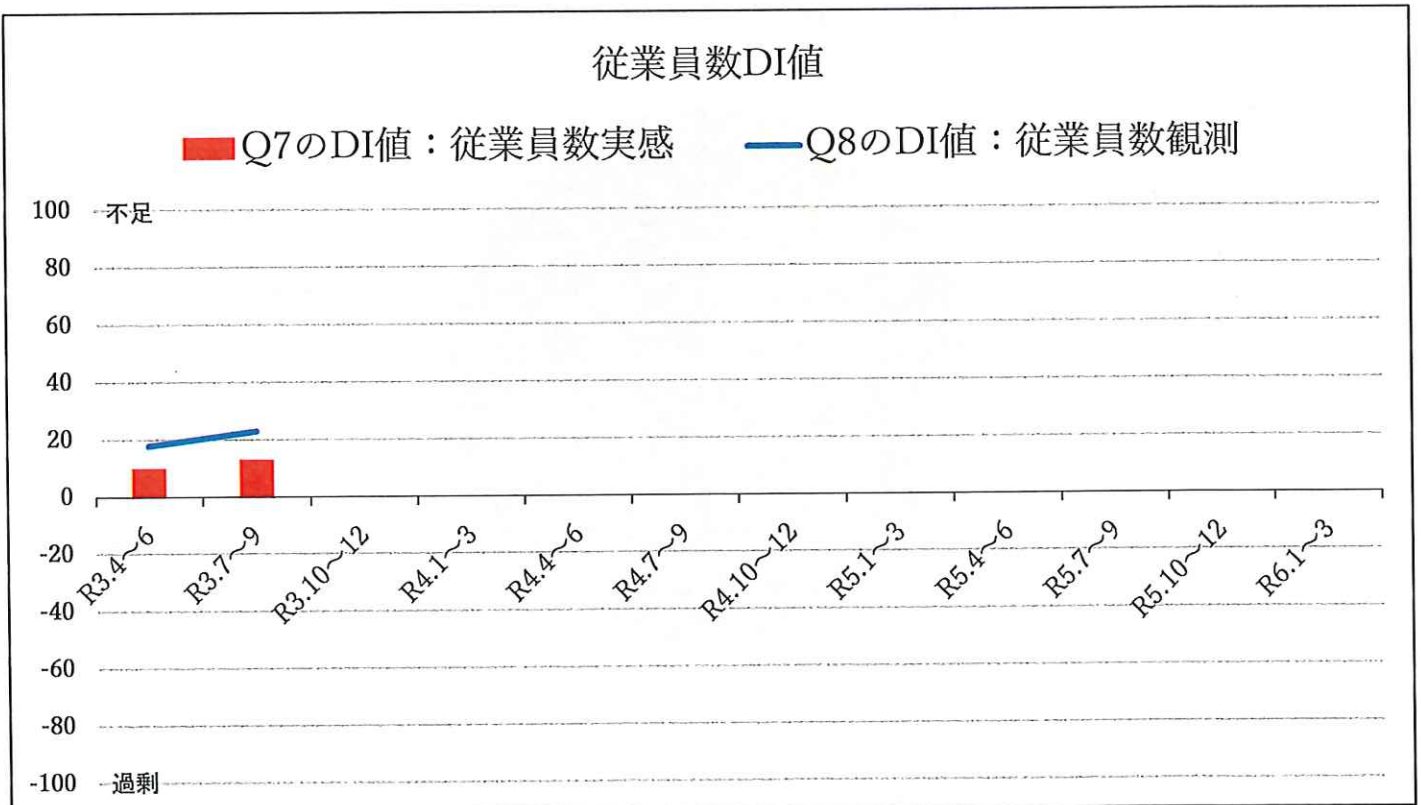
Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？



□資金繰り実感のDI値は▲15ポイント（-3悪化）、観測のDI値は▲13ポイント（+3好転）。若干の減少見られるも、見通しは悪くない。

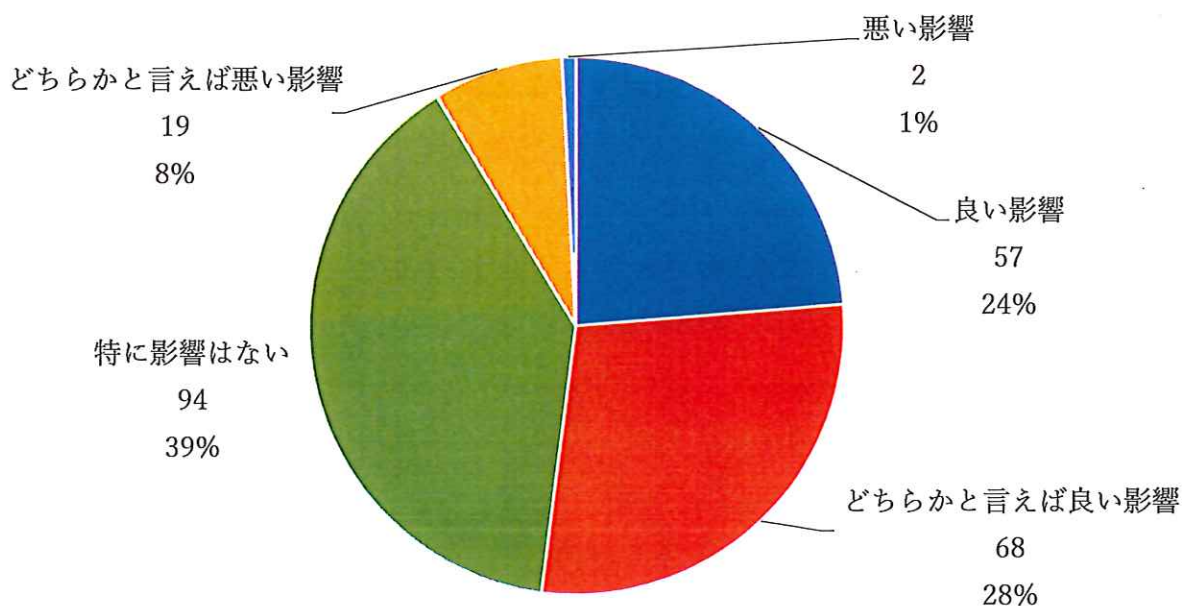
Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



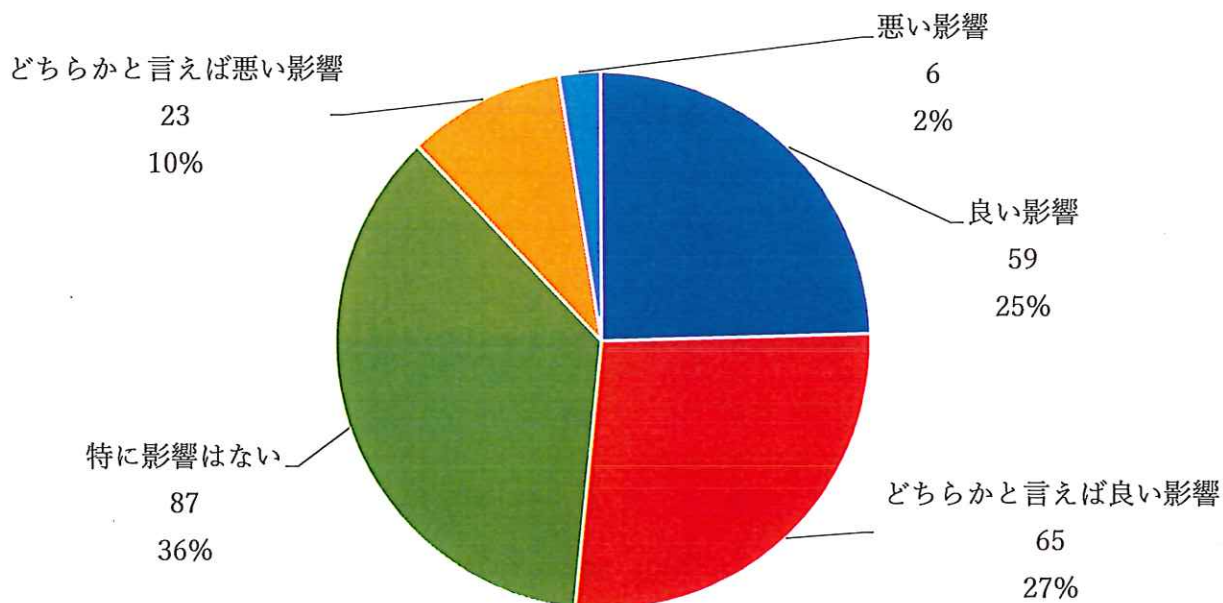
□従業員数過剰の実感DI値は13ポイント（+3）、観測のDI値は23ポイント（+5）。人手不足感微増、潜在的な不足感も微増。

Q9「三陸沿岸道路(八戸～仙台)」の影響についてお尋ねします。  
この道路は、あなたの仕事にとって影響はどの程度ですか？



□ 「良い影響」「どちらかと言えば良い影響」と回答した割合が52%。三陸沿岸道路波及効果の潜在需要の開拓余地がまだ高い。

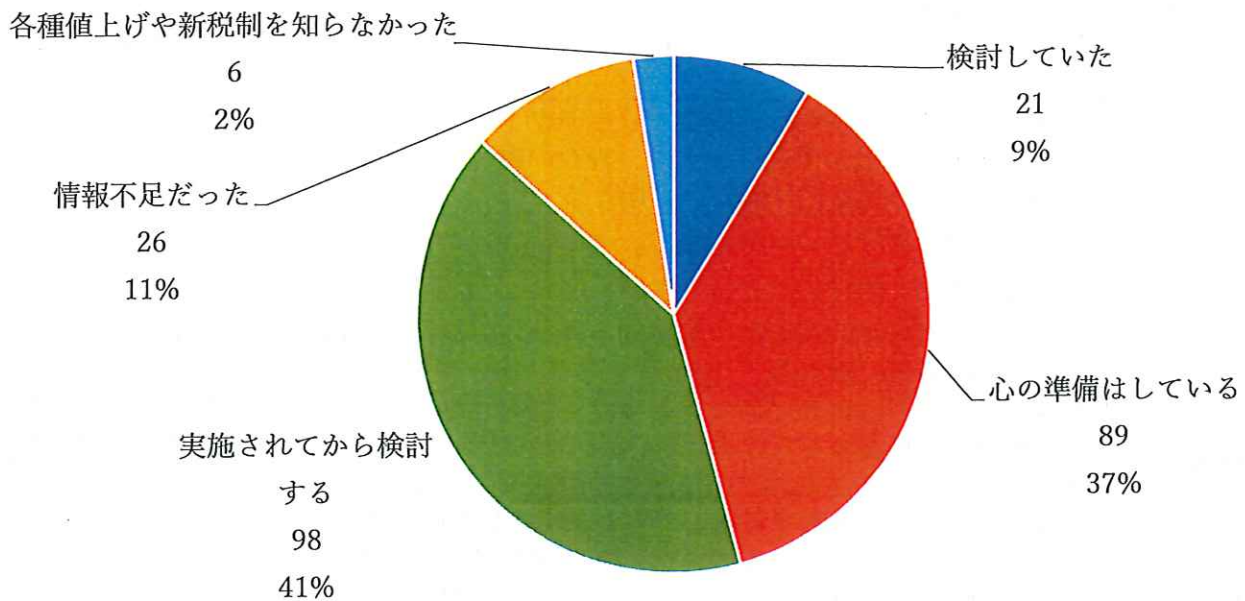
Q10「宮古盛岡横断道路(宮古～盛岡)」の影響についてお尋ねします。  
この道路は、あなたの仕事にとって影響はどの程度ですか？



□ 「良い影響」「どちらかと言えば良い影響」と回答した割合が三陸沿岸道路同様52%。宮古盛岡横断道路についても、波及効果の潜在需要の開拓余地がまだまだ高い。



Q11「10月から値上げされるものや新税制」についてお尋ねします。  
 食料品(バター、食用油、小麦等)が値上げされ、環境税の導入によりガソリン価格・電気料金・交通期間への影響が危惧されますが、貴社では対策を考えていましたか？



□ 「値上げの秋」に備えていた事業者は約1割。「心の準備はしている」「実施されてから検討」と回答した事業者は約8割と、“後手感”が否めない。外部環境に対する備えの注意喚起を要す。

【参考】 経営者240名の年代別内訳

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
1人	10人	32人	61人	67人	58人	11人
青年		壮年		実年		熟年
11人(4.6%, ▲1)		93人(38.7%, +5)		125人(52.1%, ▲4)		11人(4.6%, ±0)

◆◆◆ 総 評 ◆◆◆

コロナ禍の影響が、卸小売業、飲食宿泊理美容業、食品加工製造業といった業種で色濃く出ており、諸物価の高騰と併せて大きな懸念材料である。資金力もジリ貧といった傾向があり不安は尽きないものの、不調の底打ち感が散見され、工業製品製造業を基点として回復に向かう明るい傾向も見て取れた。

感染症対策については全業種下の課題でもあり、ポストコロナを見据えた経済活動へ前向きに取り組むことにより、前期に増して低調となった収入の回復への注力を要するものと思われる。

## 自由記入

No.	業種	コメント
1	サービス業	コロナ禍の影響で人流が押さえられていて商売の売上に直結し苦しい時を過ごしている。全国の緊急事態宣言が撤廃されると人流は戻らと思うが道路が出来た事により市外県外への移動が多くなると考えられる。まだまだ厳しい状況が続くと思われる。
2	運輸業	復興工事の収束と道路改良によりリードタイム短縮によって宮古を拠点としていた事業所等の撤退が予測されます。既存の顧客他事業内容の転換を図らなければこの地域で生き残るのは難しいと考える。
3	美容業	コロナが出ると町に人が出ません。落ち着いたようで良かったです。
4	小売業	ご苦労様です。飲食店は大変ですが10月からは好転しそうですね。
5	小売業	三陸道路、宮古盛岡横断道の影響で市外からの流入より市外への流出（買い物での）の方が多いと感じる。
6	建設業	宮古盛岡横断道は移動には負担も少なく便利になりましたが反面県央業者の入札への積極的参加が多くなりました。従いまして受注競争が激化しています。従来2時間はかかり冬場の区界峠が難所で沿岸部への参入を良い意味で止めてくれていた気がします。今後競争力を上げられるように対応します。
7	小売業	アンケート報告書がわかりづらい。宮古割り対象があのように少ないのはなぜですか？paypay 割引対象になるように市に働きかけてははいかがでしょうか。補助金申請では大変お世話になりました。
8	サービス業	市内の経済（金）循環だけでは限度があり市場規模が小さいので影響が小さい。またプレミアム商品券では通常の食料品購入時に使用されるので購買力がアップするとは考えられにくい。市外の人をいかにしてリピーターに出来るような（例：次回利用可能は商品券）企画が必要！
9	サービス業	県外への営業やセミナー参加等が難しくなりインターネット活用や遠方の方と派遣社員契約をしてみたがなかなか売上の好転には繋がりません。今回のコロナ禍により補助金申請を経験してみて、経済などの情報を常に意識して資金繰りに生かせるようにしなければならぬと思ひました。今後も商工会議所さんからの情報提供を宜しくお願いいたします。宮古市は喫茶店と美容店が増えているが居酒屋、飲食店は以前はやっていた店も厳しい印象です。前回アンケート自由記載の16番製造業の方の意見に厳しく同意です。
10	製造業	今後事業を続けていても回復見込が見当たらない。何か支援策が無い物か
11	製造業	観光地の土産品売店、宿泊施設の売店からの受注がなく、大きな痛手を受けている。そこへ宮ビルの閉店等取引先減少で先の見通しは暗い。
12	飲食業	去年より今年は一段と苦しくなった。人々が集まって成り立っている商売に「集まらないで」と云う事だから絶望的な話だ。ご支援に感謝し嵐が過ぎるまで耐えるしかない。それが本当に出来るのか不安だ。
13	製造業	製品受注は潤況であっても製造する元となる原料を確保する事が難しい状況にある。価格に関しても10年前と比べると2倍又は3倍の原料価格となる為、資金繰りも苦しい状況となる。人材に関しては経費が増加しても採用する方向で考えている。（従業員高齢化の為）
14	建設業	コロナはもちろんですがウッドショックも気がかりです。
15	飲食業	当店は開業して40数年間お客様に支えられて頑張ってきましたがコロナに依りそれが出来なくなり現在はほとんど商売になっておりません。1日も早くコロナが終息する事を切に望みます。
16	サービス業	カーボンニュートラル実現をと、声高に発言する政治家達には辟易している。2050年までに炭素0社会になったならば日本の産業は衰退していると思われる。日本の国力を貶める政治が跋扈している今の日本を最大限危惧している。「鉄は国家なり」と言われたのは昔語り。これ以上ガソリン価格、電気料金の値上げは許されない。天下の愚策「カーボンニュートラル2050」が推進されるならば日本の製造業は国内から出ていくしか生産手段がなくなる。岸田政権が標榜する「新たな資本主義」「成長と分配の好循環」をカーボンニュートラル2050政治は明白な論理矛盾です。速やかな政策の見直しが必要です。

## 自由記入

No.	業種	コメント
17	小売業	タバコの値上げが悪い影響です。
18	宿泊業	前期黒字計上も各種補助金、助成金支給によるものであり、本来経営は厳しい。新型コロナ関係による政府方針に左右される事業であり資金繰り含めた今後の経営計画の策定等見通しが見つからない状況。今後、休業、人員のリストラ等を検討していく必要性を強く感じる。
19	サービス業	支援金・補助金に助けて頂いて営業出来ています。今後の事を考えると不安になります。
20	サービス業	地域唯一の業種なので今のところ経営に大きな影響はないが今後先々に時代のニーズに対応する手を打って行きたいと準備を進めております。
21	サービス業	コロナで自粛してしまった。景気は地方では元に戻る事は考えにくい。人々が外でお金を使うという事をしなくなったのはコロナ自粛に慣れてしまったから。その上に増税などと都会はともかく大企業の少ない地方にはもう死ねといっているようなものと考えます。
22	製造業	輸入材激減に依り当面供給不足が続くと思う。
23	サービス業	コロナウイルス感染状況により売上が大きく変動し、今後の売上が心配。又、人員の確保が難しい状況です。
24	漁業	徐々に回復しているが失った販路回復にはまだかかりそう
25	小売業	道路の影響は近所の老人には関係ない様だけど息子、娘が来やすくなった。飲食が前のように注文あれば良くなるか
26	飲食業	最も売上が見込める8月。宮古市内のクラスターにより売上は50%以下。9月以降も前々年との比較では相当な落ち込み。(前年比でも減)。市の補助制度を待っている。(盛岡市は既に動いているのに不満)。商工会議所様からの支援は大変ありがたく感謝しています。
27	製造業	9月からお客様の来店が減りこの先不安ですが今、仕事をやめる事が良いかは分からないので、しばらく続けようと思います。
28	建設業	全体的には復興災害復旧の減少とコロナ禍での低迷を実感する。建設業においては加えて競争が激しくなり体力勝負になってきている。半導体不足により住宅機器の仕入値、納期の大幅な遅れによる影響が出ているし、ウッドショックでの木材価格が上昇し採算性も厳しい状況です。オイルショック等により今後資機材等の値上げが想定される事から更に厳しいを思われる。
29	製造業	今の時代、何が起きてもおかしくない状況なので先を見通した計画を立てる事が難しいと思う。計画を立てるよりも、状況に合わせて動く方がいいのかもしれない。
30	小売業	コロナ発生後、仕入が出来ず(埼玉市場でのセリ市「樹木、機材等」)。来春の(花と緑の展示会)仕入が始まりつつありウィズコロナ対策も念頭に対応してまいりたい。





宮古商工会議所経営発達支援事業「地域の経済動向調査」

# 景況調査アンケート報告書

第 2 回

## 「製造業・サービス業」業態別報告書

### 【業態区分】

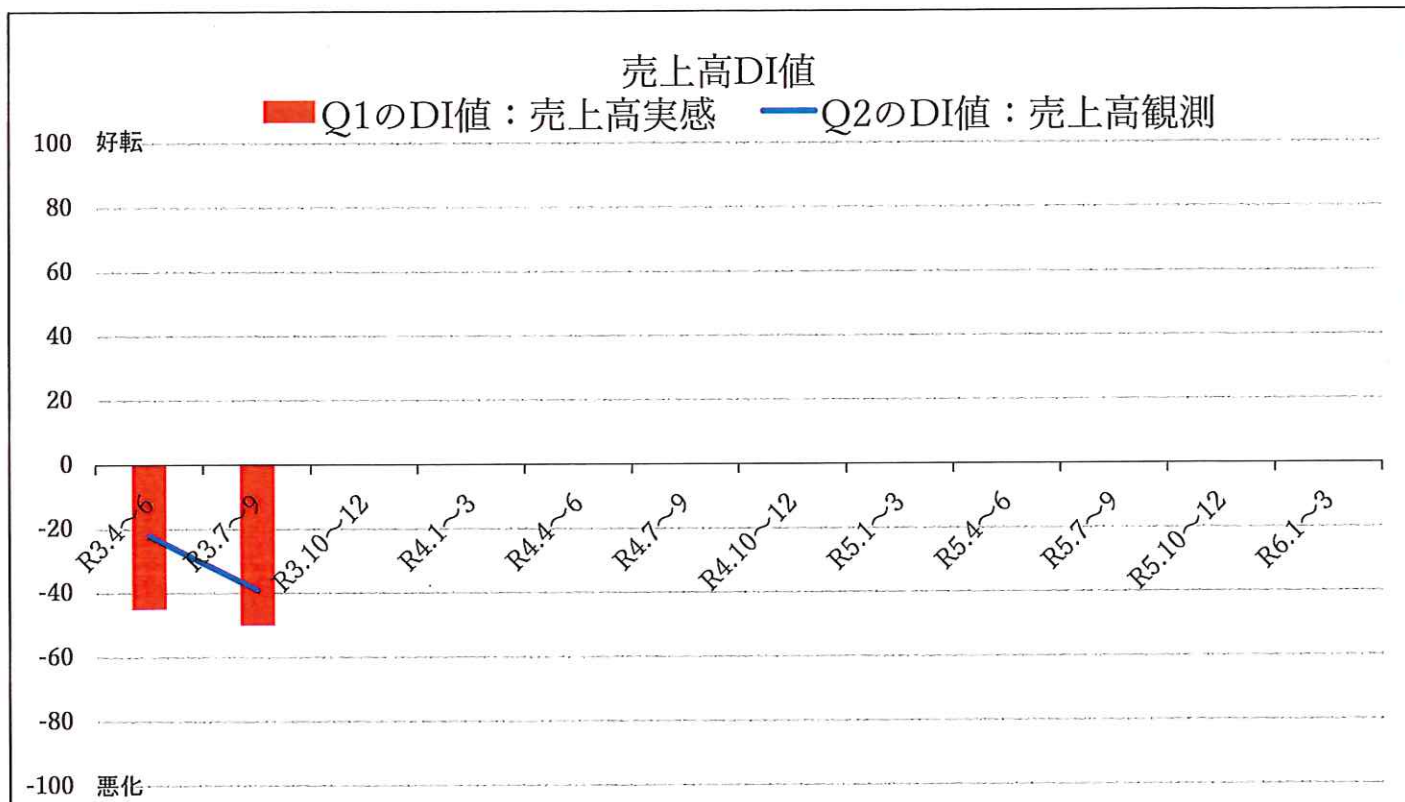
	<回答数>
① 製造業〔食品加工〕	18
② 製造業〔工業製品〕	22
③ サービス業〔宿泊業〕	9
④ サービス業〔飲食業〕	14
⑤ サービス業〔理美容業〕	15

宮古商工会議所経営支援課

## 【製造業—食品加工】

Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

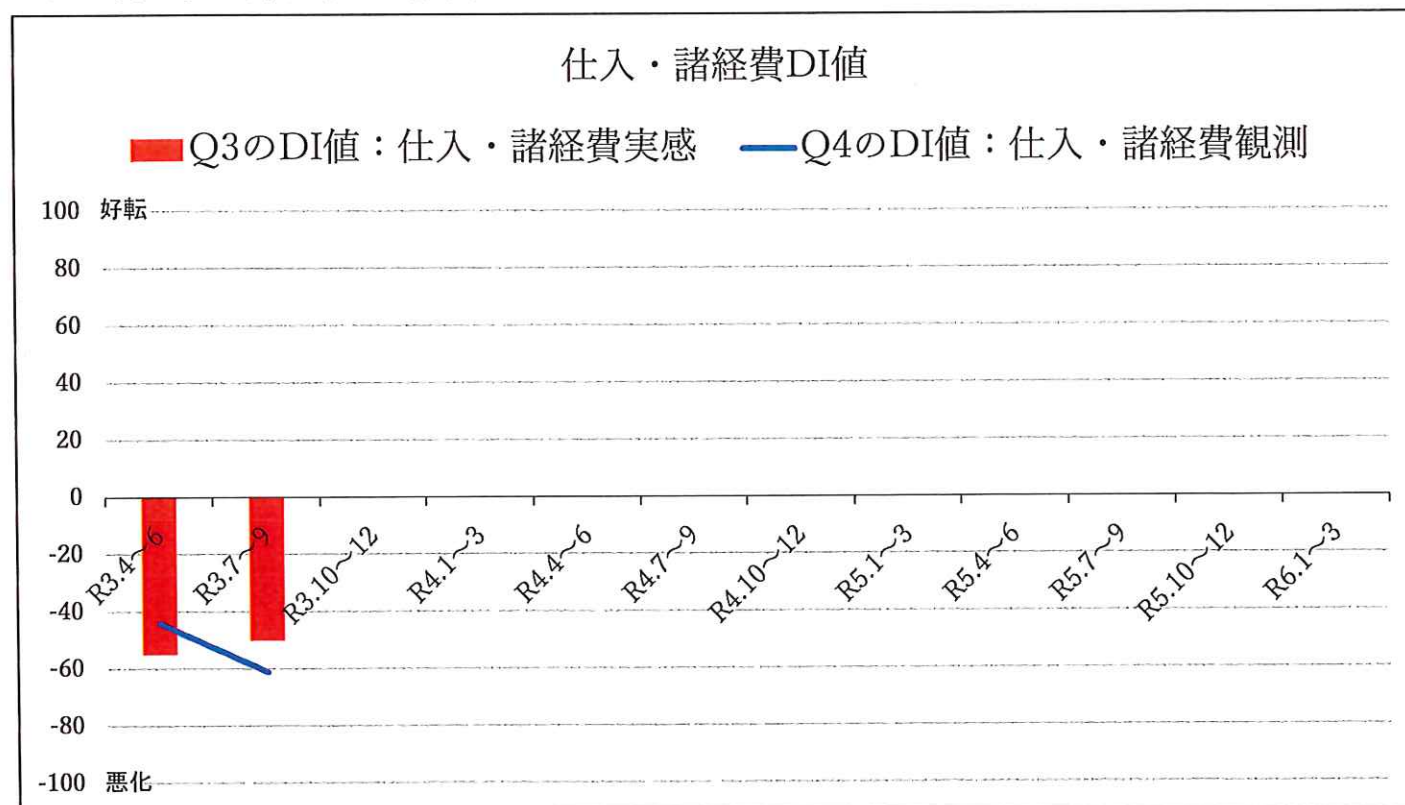
Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？



□売上高実感のD I 値は▲50ポイント（-5悪化）、観測のD I 値は▲39ポイント（-17悪化）。  
不況感が拡大、先行きの不安感は更に拡大。

Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？

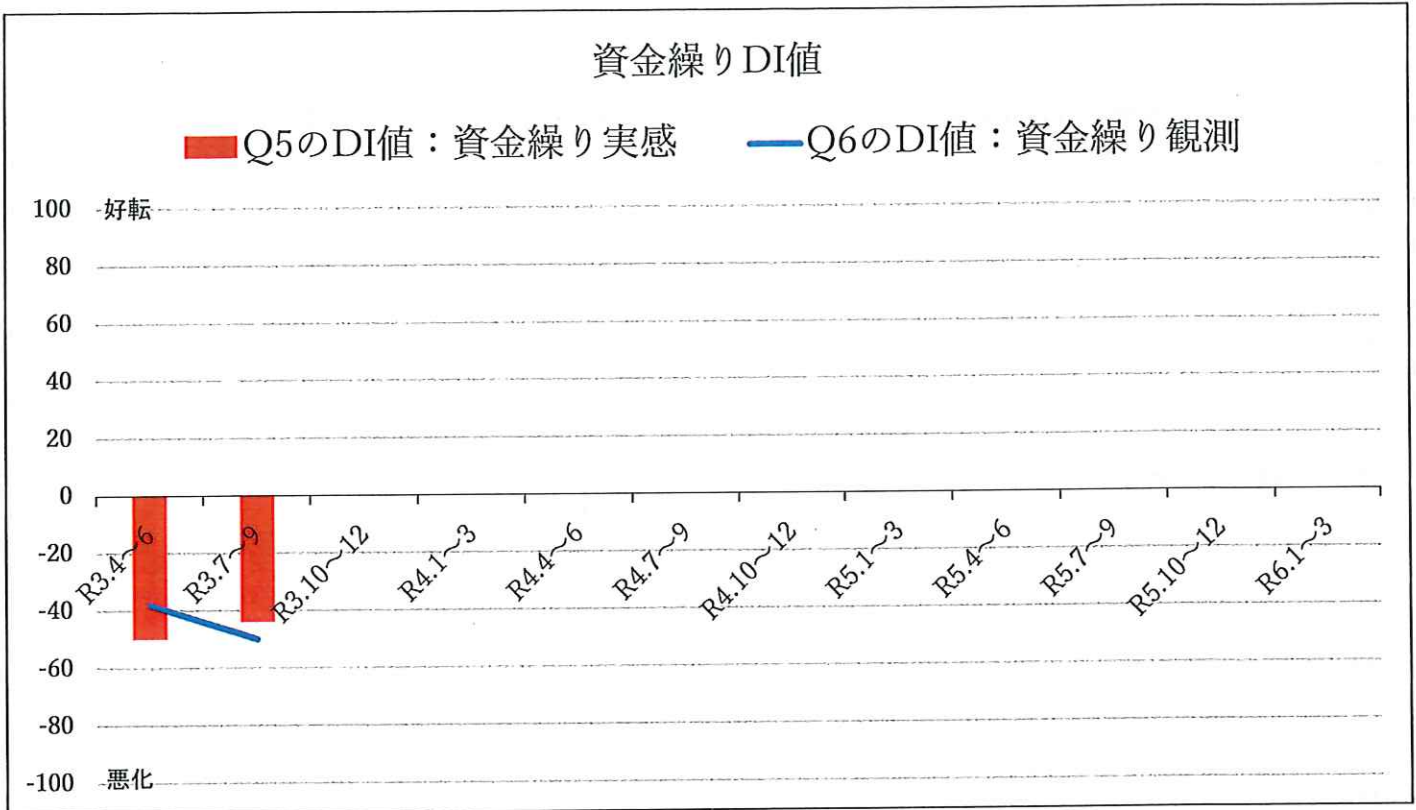


□仕入・諸経費実感のD I 値は▲50ポイント（+5好転）、観測のD I 値は▲61ポイント（-17悪化）。  
改善の努力見られるも、先行き不安感強い。



Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

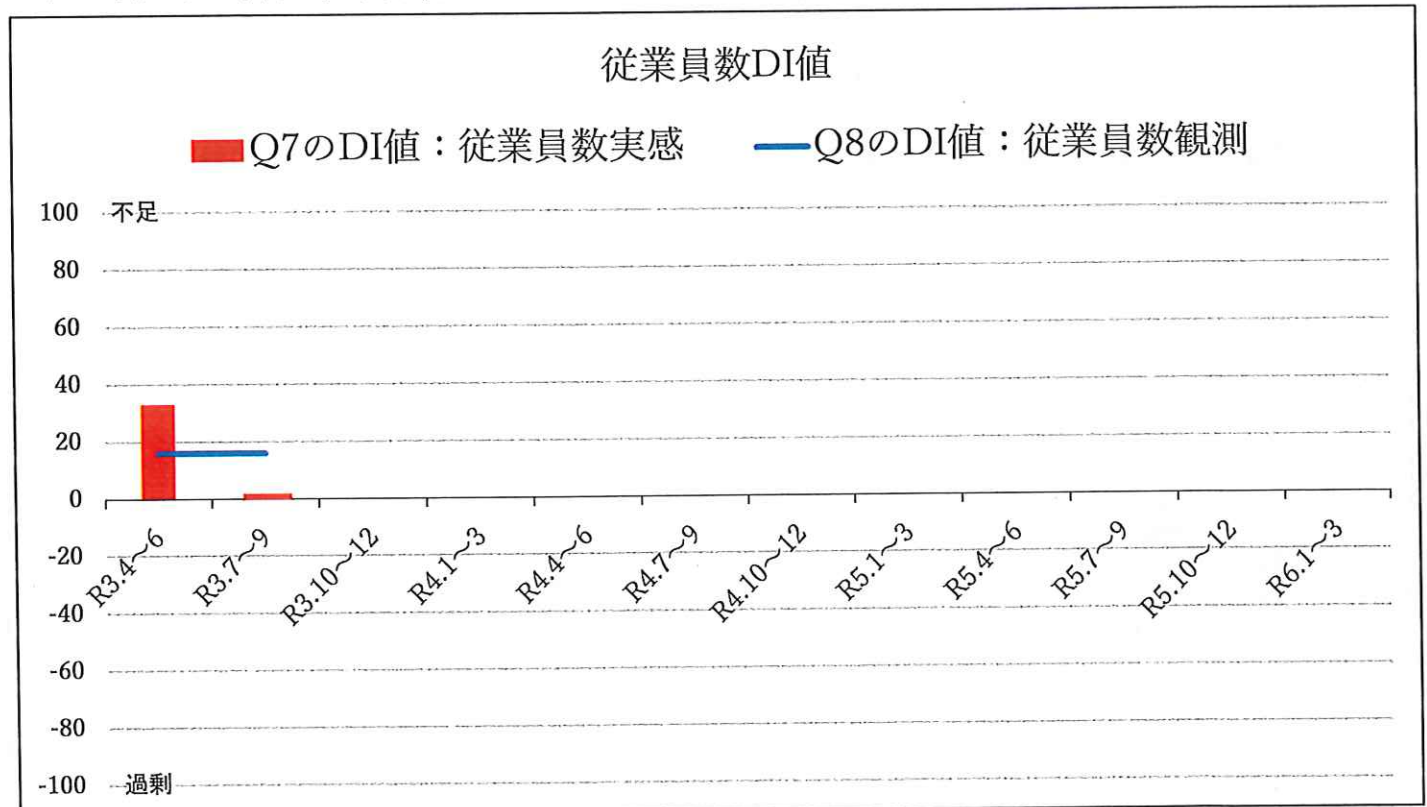
Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？



□資金繰り実感のD I 値は▲44ポイント（+6好転）、観測のD I 値は▲50ポイント（-12悪化）。改善見られるも、今後の不安高まる。

Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

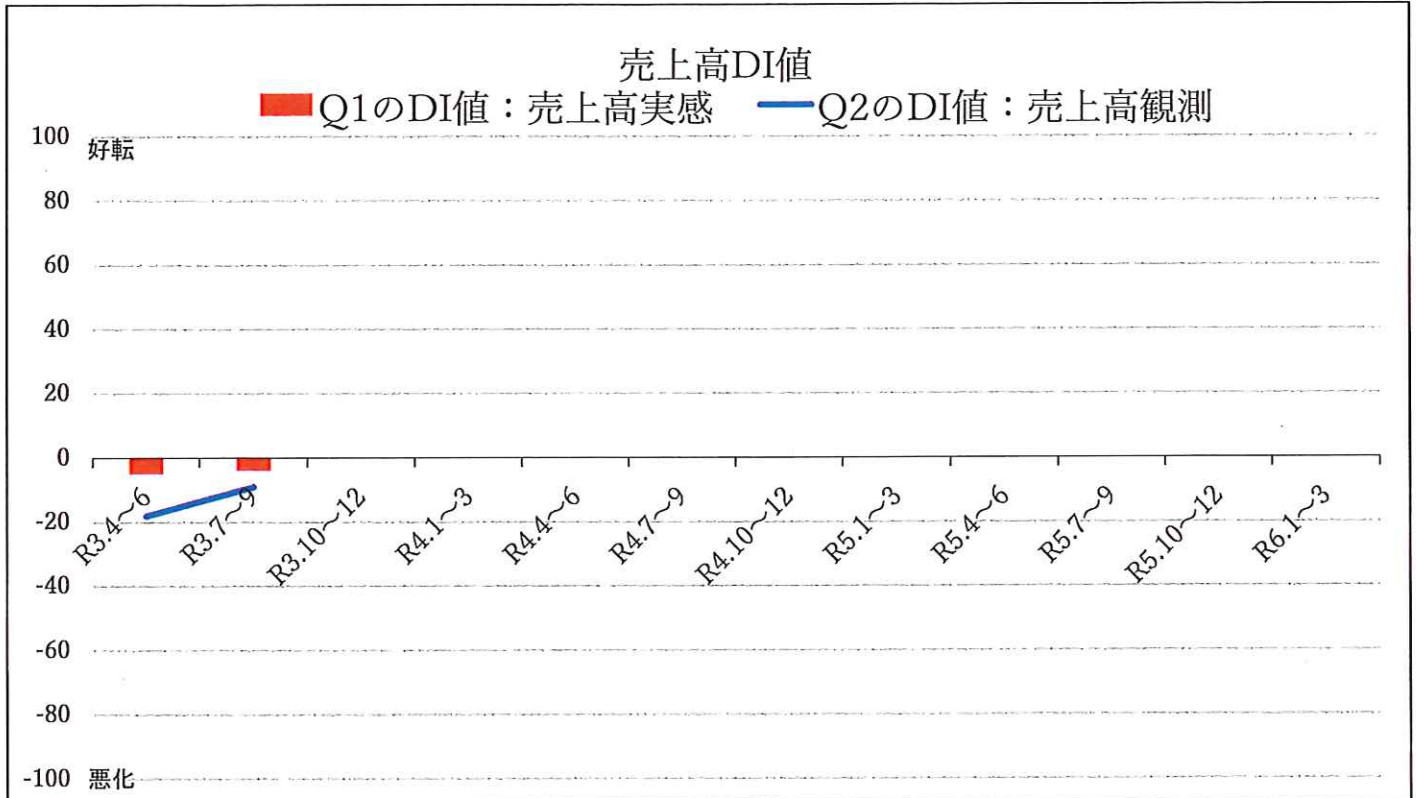
Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



□従業員数不足の実感D I 値は0ポイント（-33）、観測のD I 値は16ポイント（±0）。売上高の厳しさが従業員数値に直結か、潜在的な不足感は継続している。

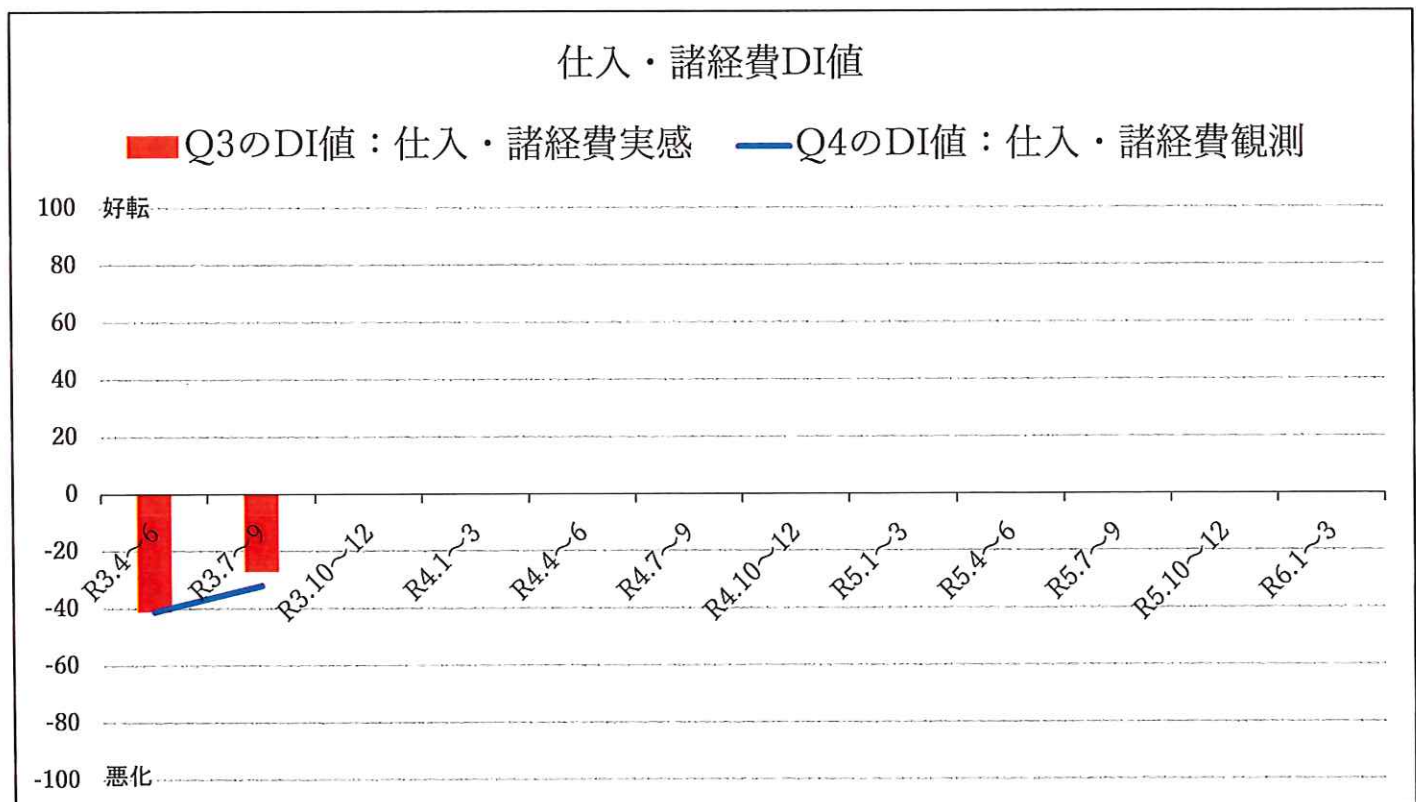
## 【製造業—工業製品】

- Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？  
 Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？



□売上高実感のD I 値は▲ 4 ポイント (+ 1 悪化)、観測のD I 値は▲ 9 ポイント (+ 9 好転)。  
 売上高は堅調に推移、見通し明るい。

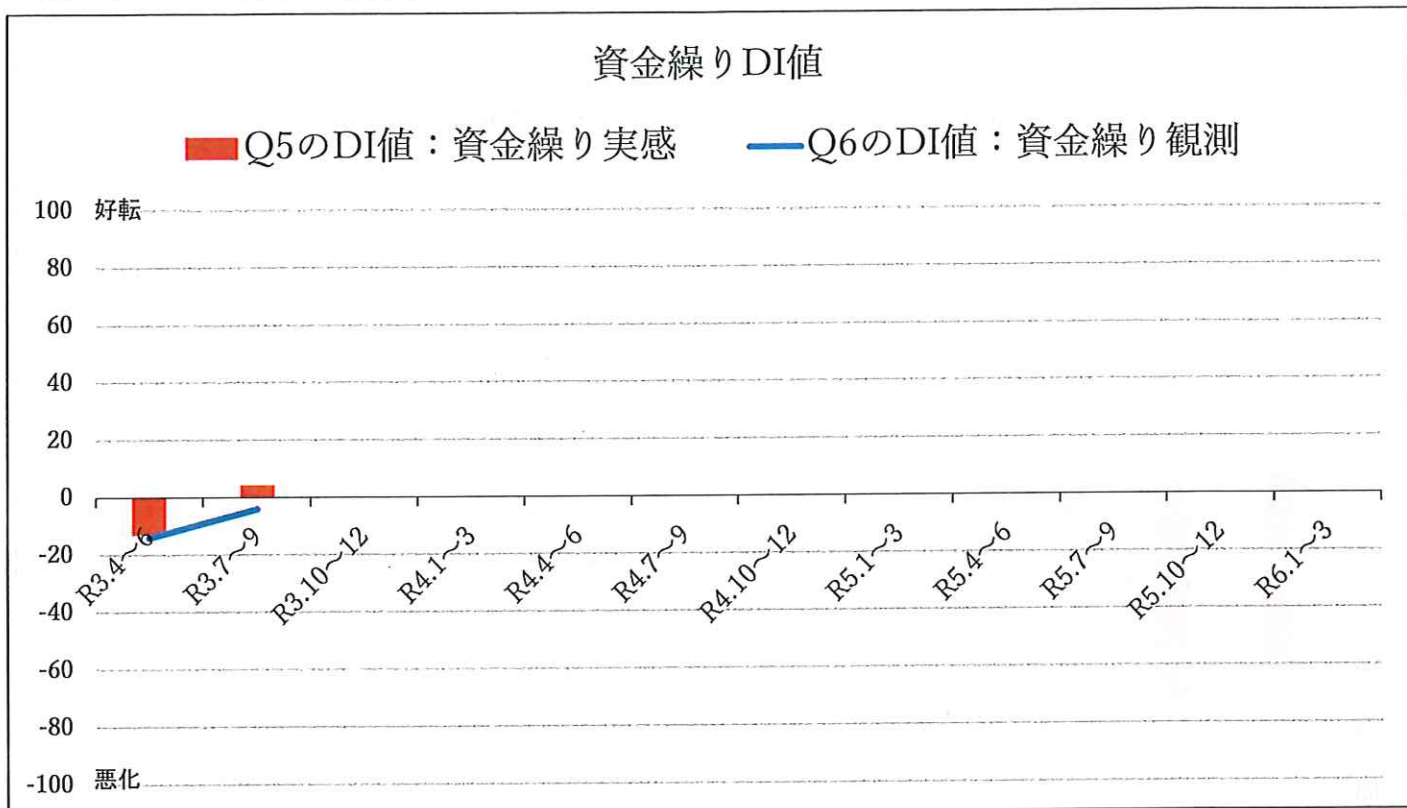
- Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？  
 Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？



□仕入・諸経費実感のD I 値は▲ 2 7 ポイント (+ 1 4 好転)、観測のD I 値は▲ 3 2 ポイント (+ 9 好転)。  
 好転強く、先行きの見通しも明るい。

Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

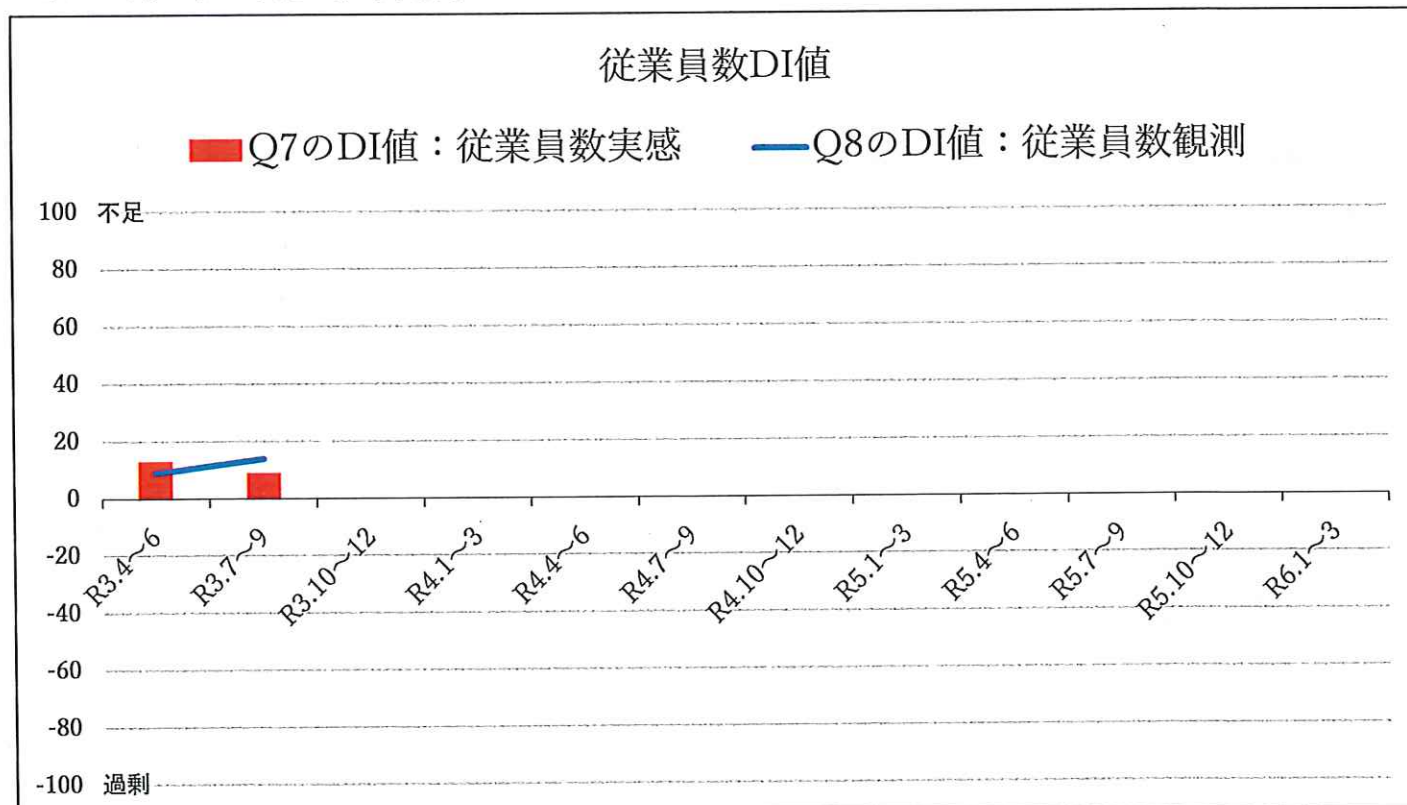
Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？



□資金繰り実感のDI値は+4ポイント（+17好転）、観測のDI値は▲4ポイント（+10好転）。  
資金の充足感あり、見通しも高まる。指標良。

Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？



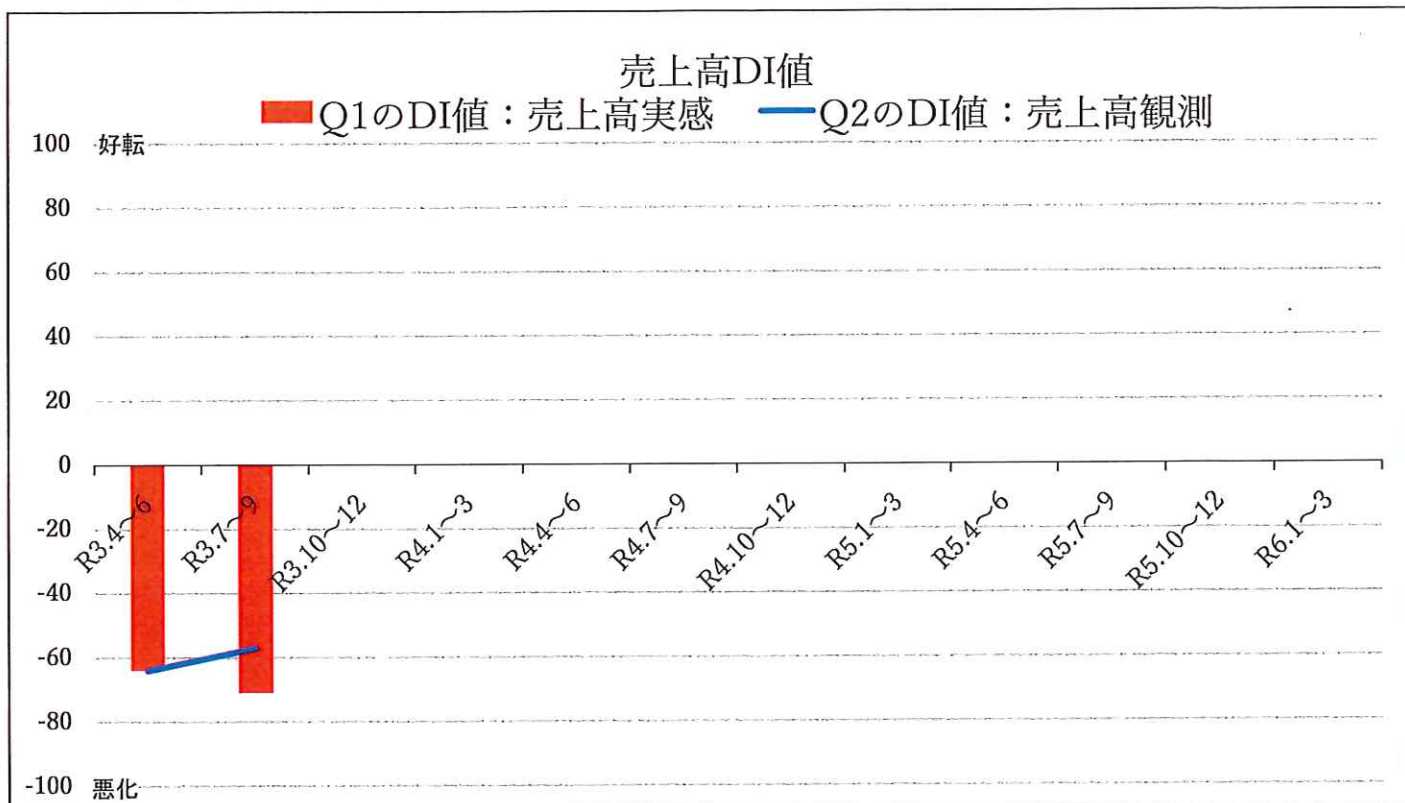
□従業員数不足の実感DI値は9ポイント（-4）、観測のDI値は14ポイント（+5）。  
人手不足感やや解消、今後も人手要。



## 【飲食業】

Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

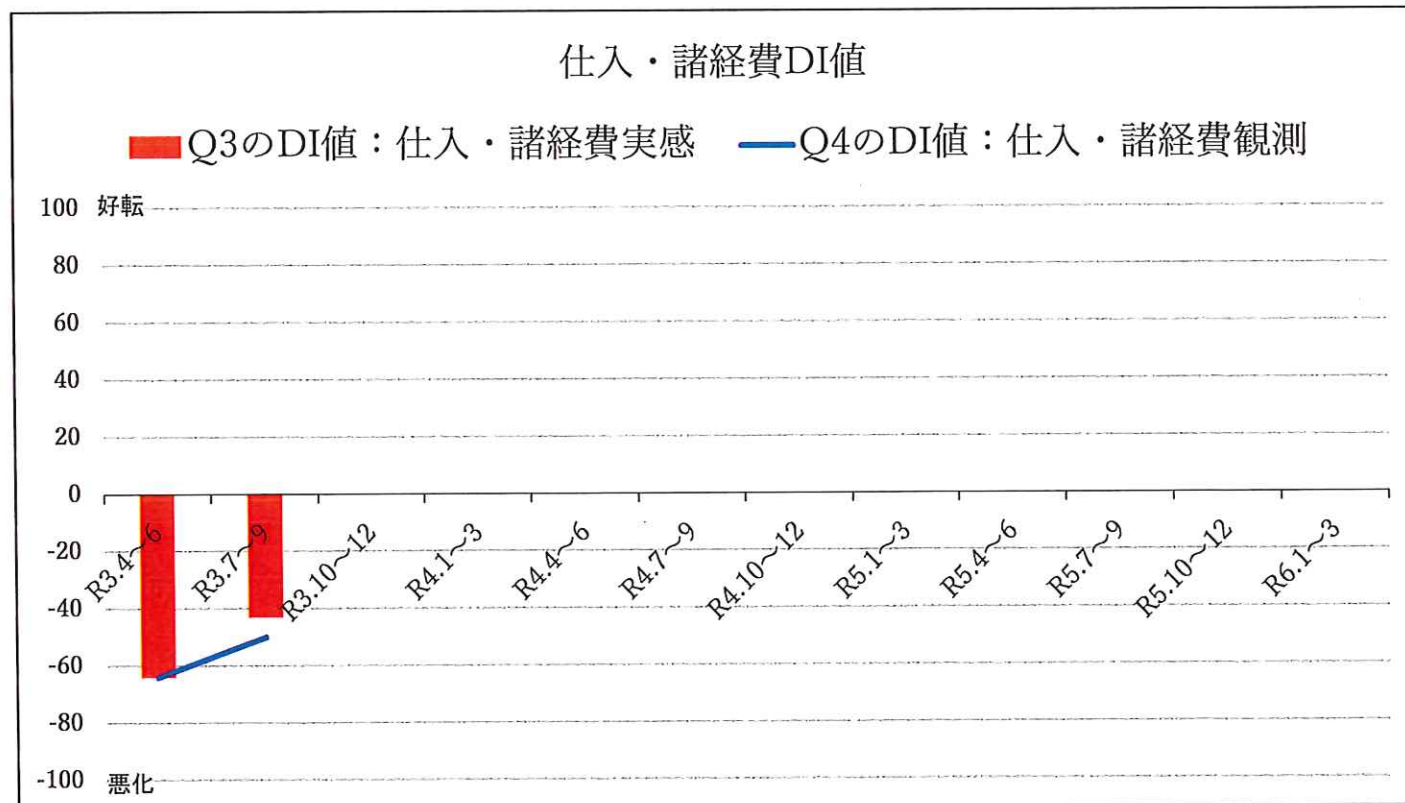
Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？



□売上高実感のDI値は▲71ポイント（-7悪化）、観測のDI値は▲57ポイント（+7好転）。  
売上高はさらに悪化も底打ち感。

Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？



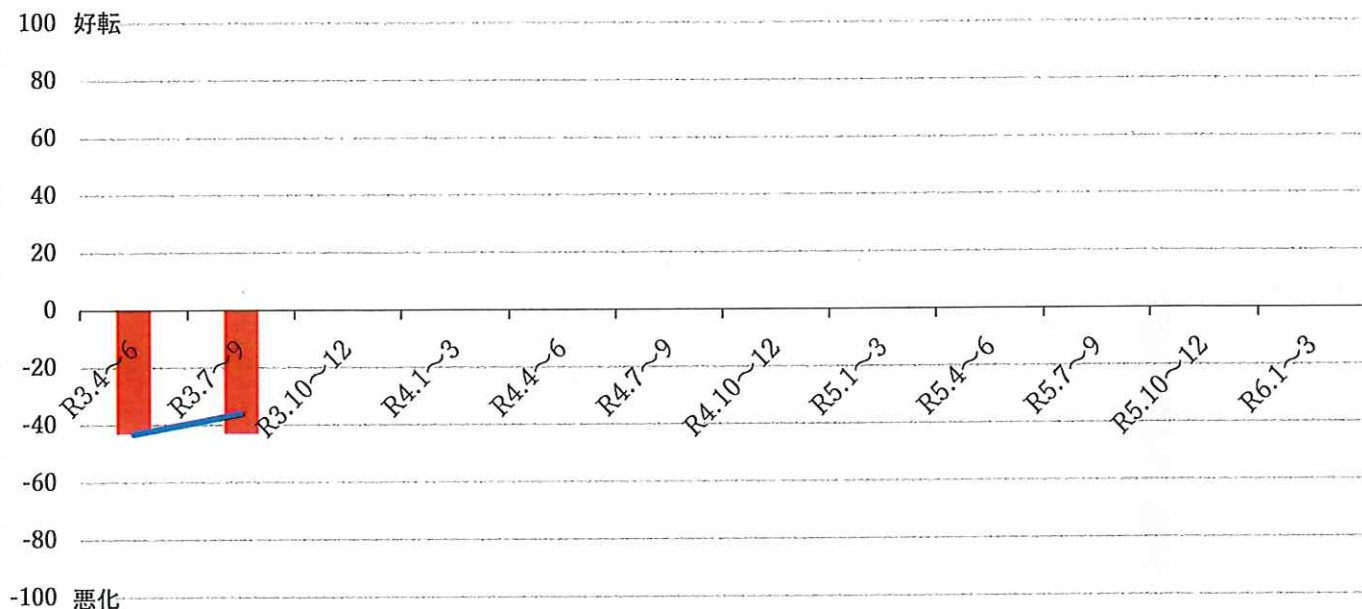
□仕入・諸経費実感のDI値は▲43ポイント（+21好転）、観測のDI値は▲50ポイント（+14好転）。  
苦しさ底打ち好転兆し強く、先行きも明るさが戻る。

Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？

### 資金繰りDI値

■ Q5のDI値：資金繰り実感      — Q6のDI値：資金繰り観測



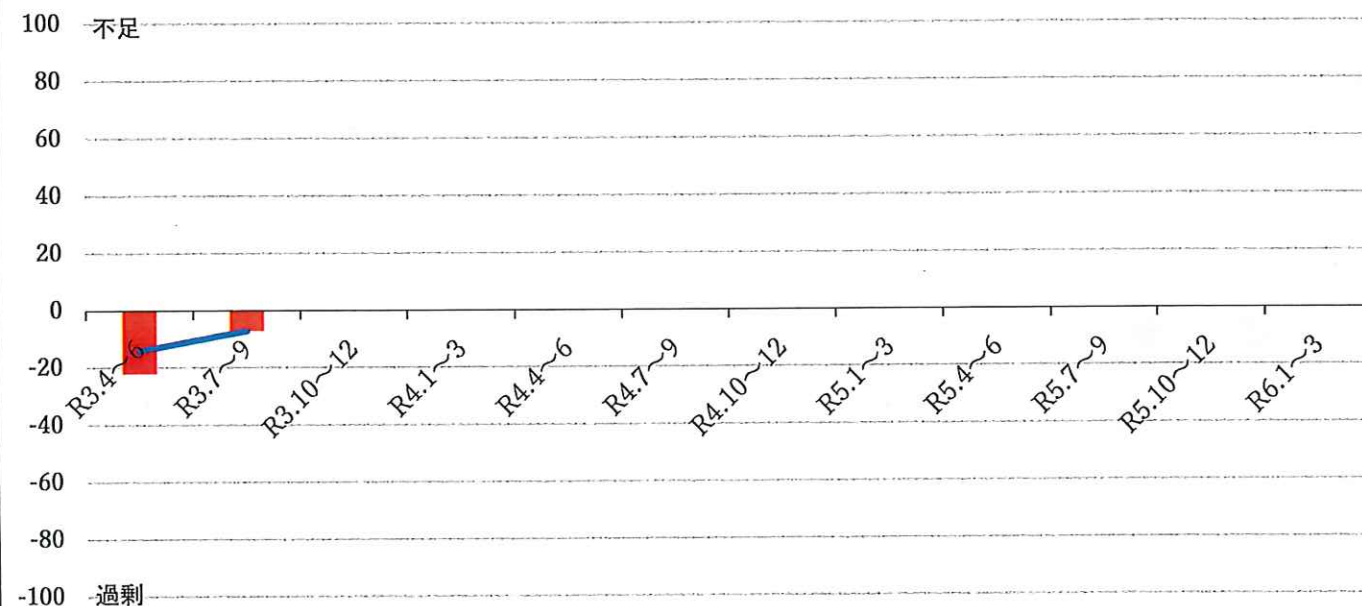
□資金繰り実感のDI値は▲43ポイント(±0)、観測のDI値は▲36ポイント(+7好転)。  
厳しさ続くも、回復の兆しあり。

Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？

### 従業員数DI値

■ Q7のDI値：従業員数実感      — Q8のDI値：従業員数観測

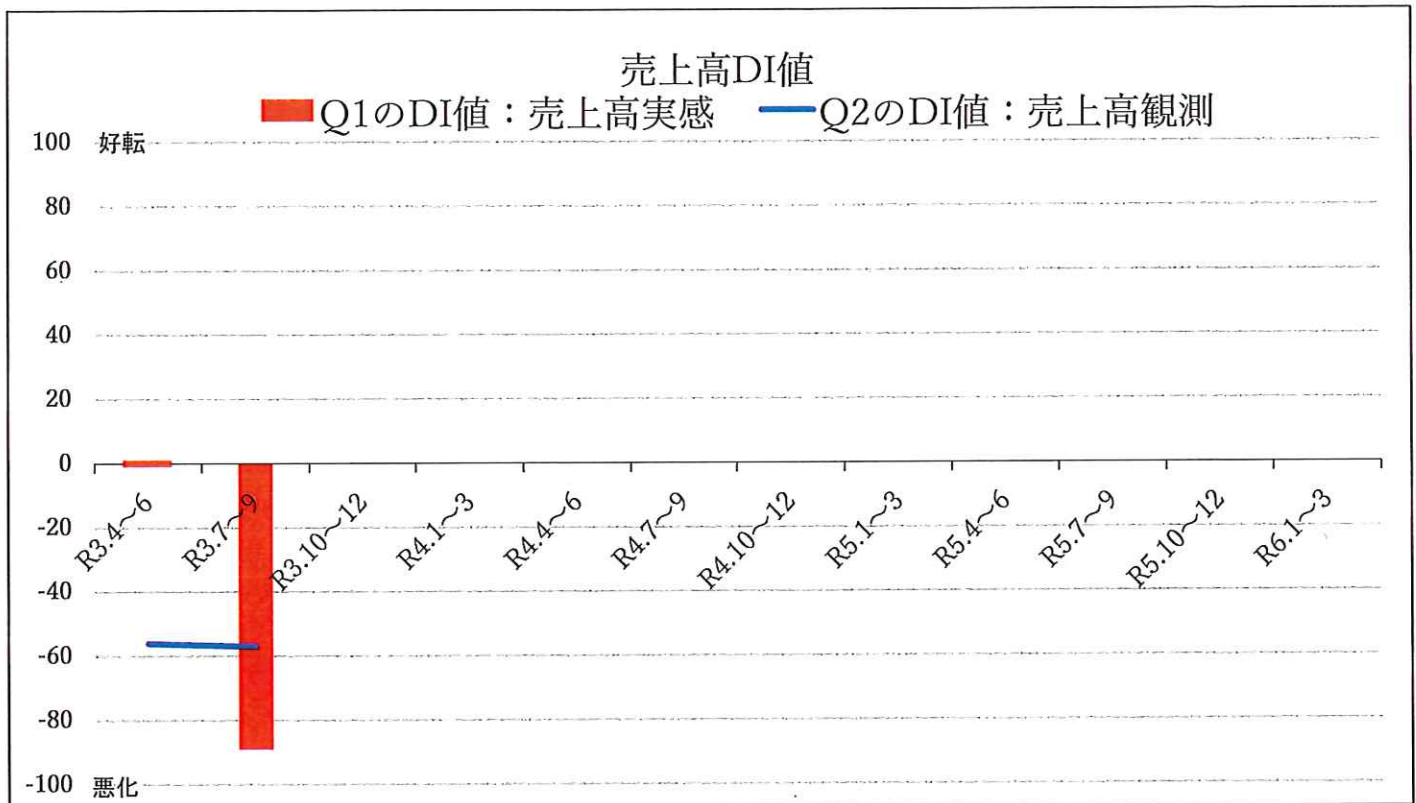


□従業員数過剰の実感DI値は7ポイント(-15)、観測のDI値は7ポイント(-7)。  
人手過剰感の減少は売上高の厳しさを反映か、今後の観測も適正值に近づく。

## 【宿泊業】

Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

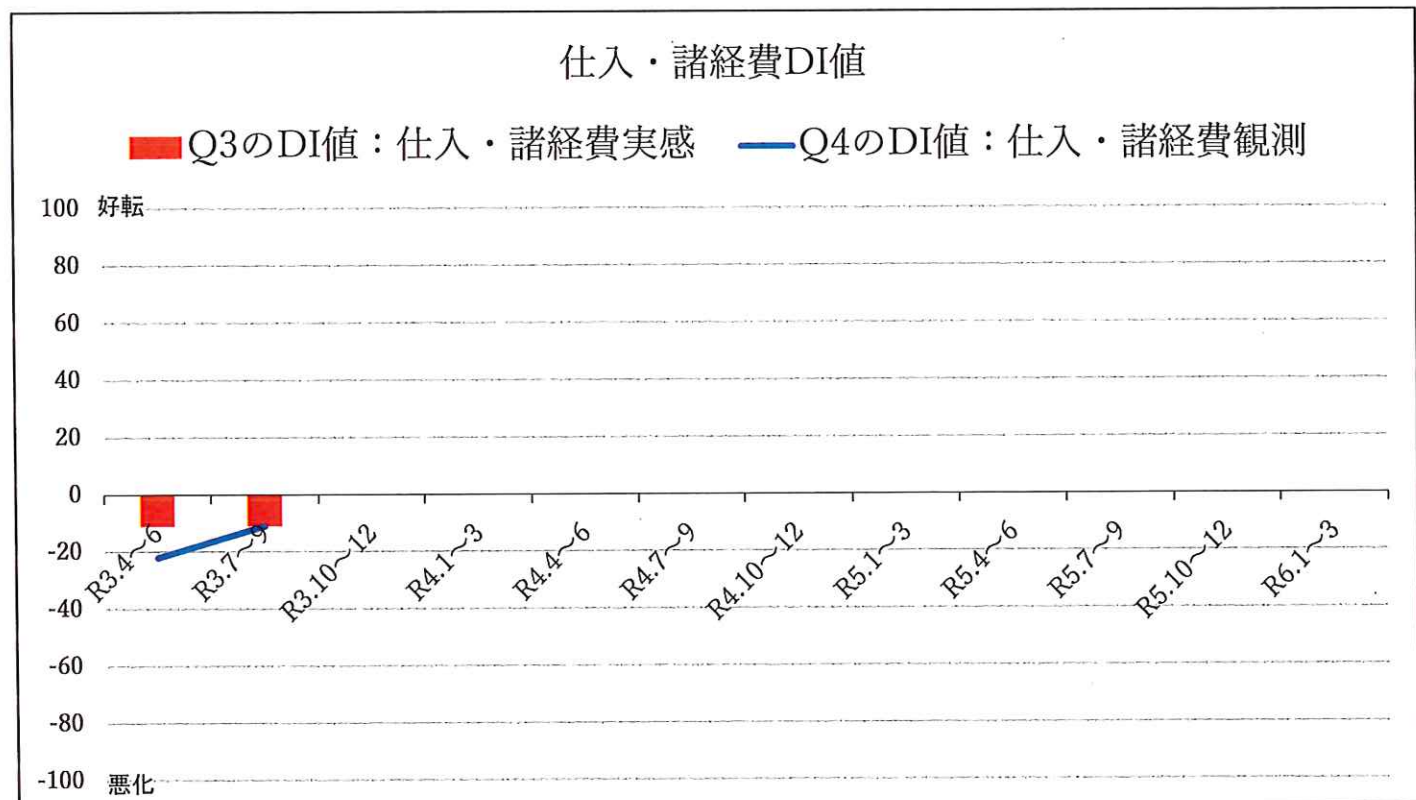
Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？



□売上高実感のDI値は▲89ポイント（-89悪化）、観測のDI値は▲57ポイント（-1悪化）。  
前期観測を大幅に上回る悪化も、底打ち感続く。

Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？

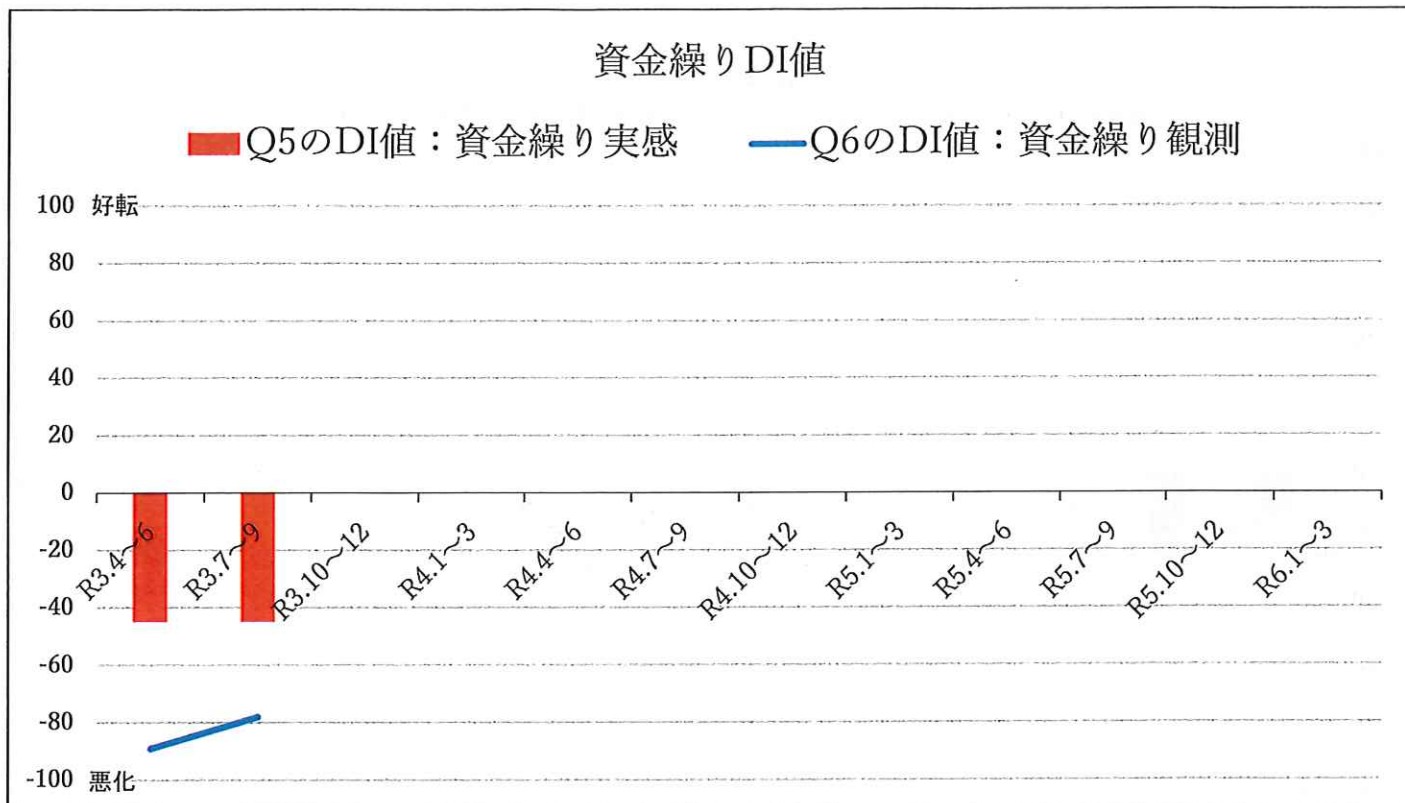


□仕入・諸経費実感のDI値は▲11ポイント（±0）、観測のDI値は▲11ポイント（+11好転）。  
我慢続くも、不透明感晴れる。



Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

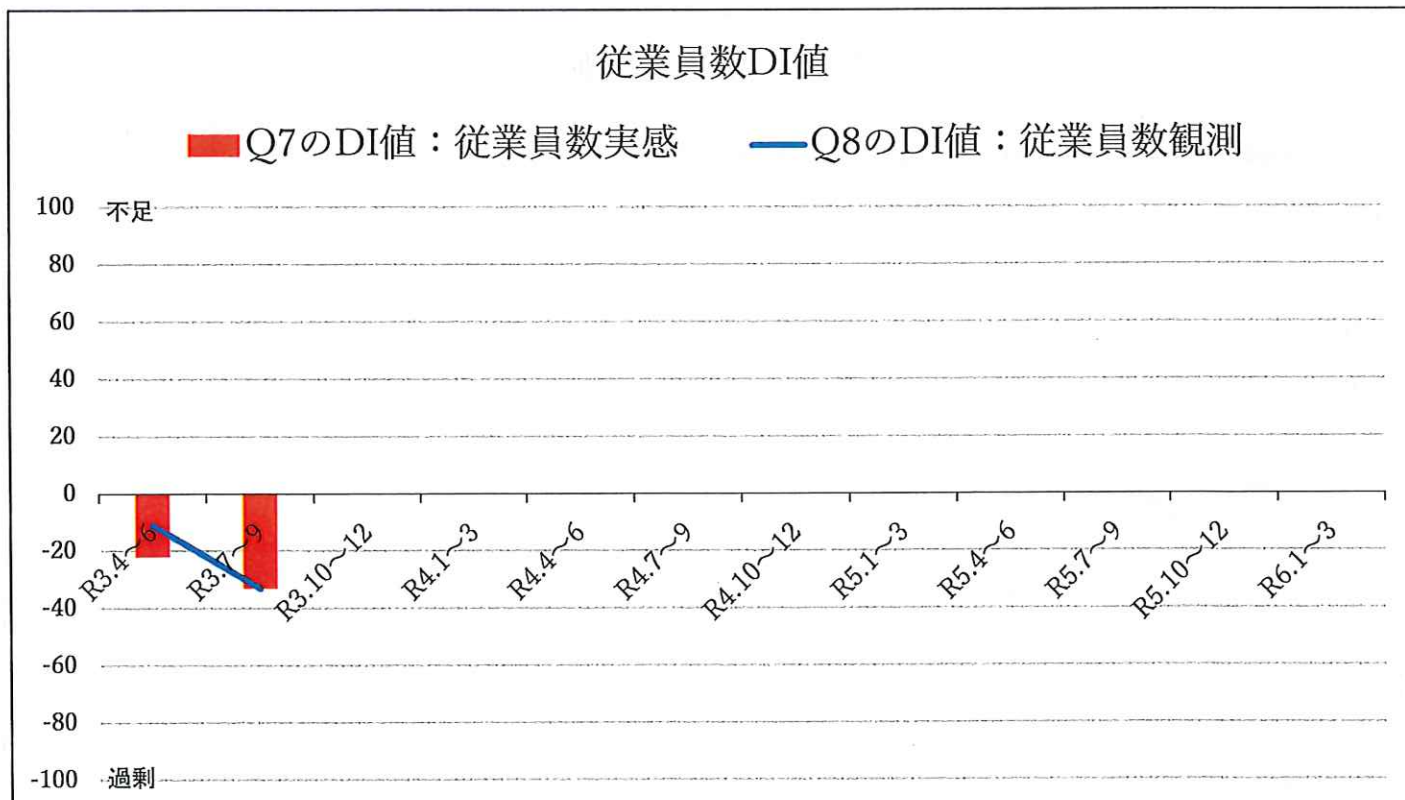
Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？



□資金繰り実感のD I 値は▲45ポイント（±0）、観測のD I 値は▲78ポイント（+11好転）。  
業界の大変な厳しさ変わらず、回復の兆しは窺えるも抜本的対策必要か。

Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？

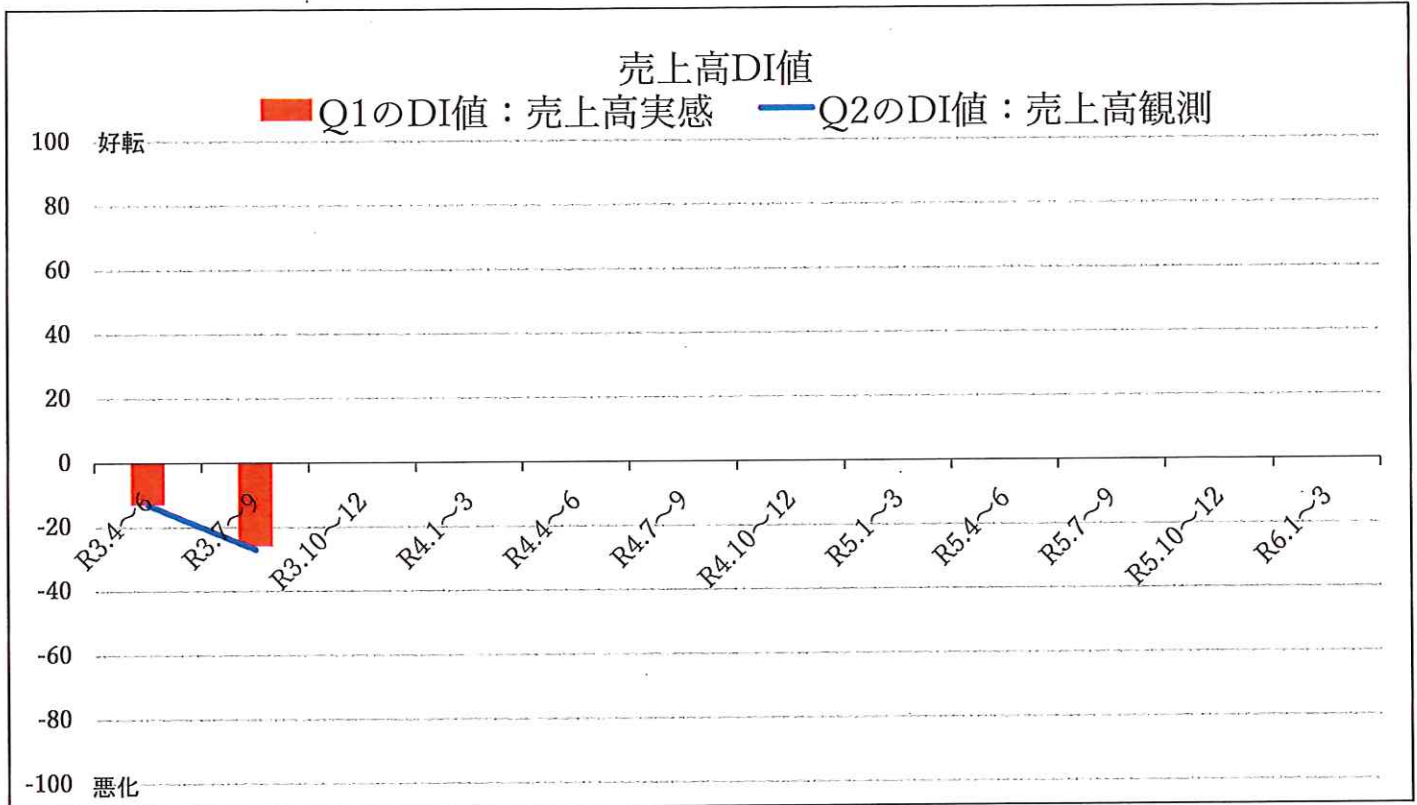


□従業員数過剰の実感D I 値は33ポイント（+11）、観測のD I 値は33ポイント（+22）。  
人余りの傾向が顕著であり懸念されるとともに、今後更に厳しい状況が見込まれる。

## 【理美容業】

Q1. 「7～9月の売上高」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

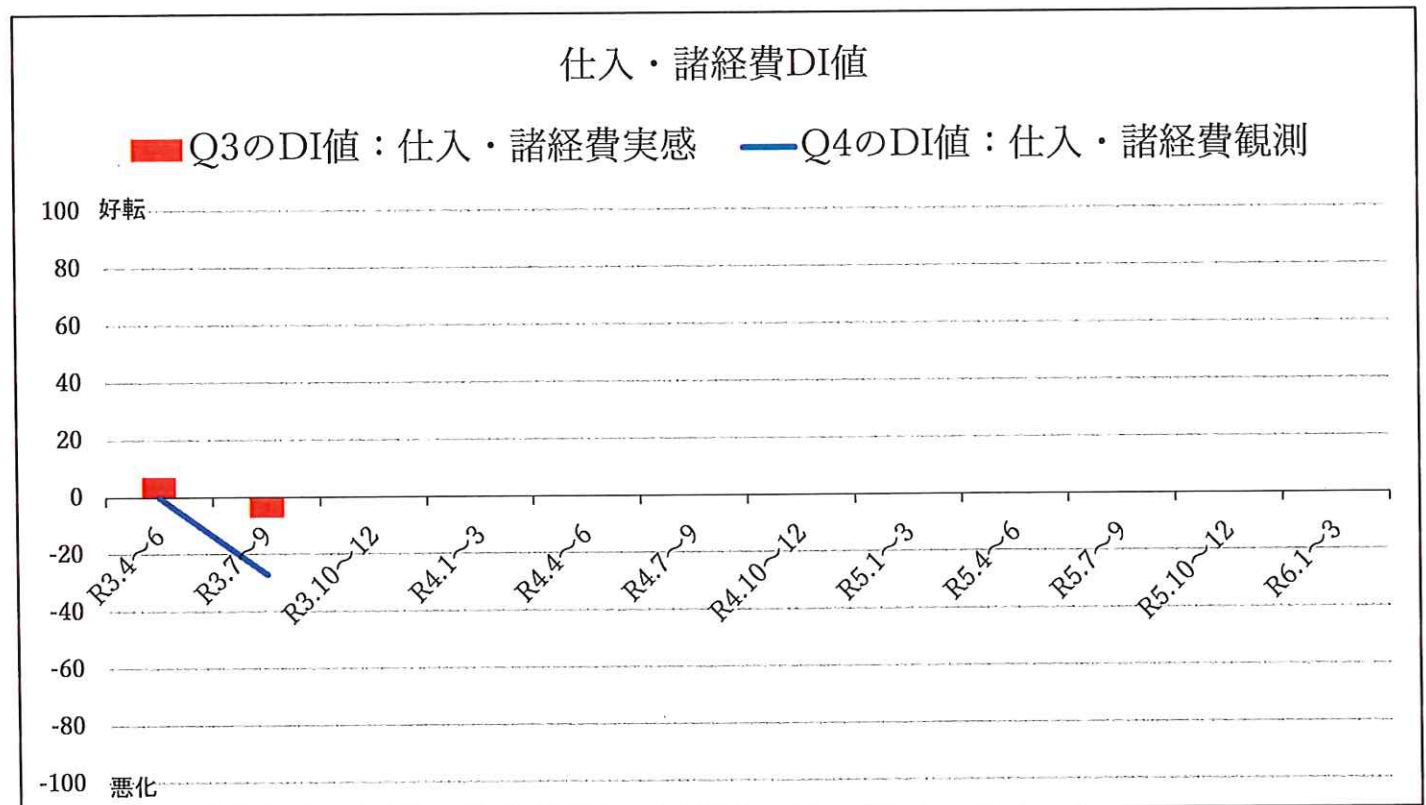
Q2. 「向こう3ヶ月の売上高の見通し」についてはいかがですか？



□売上高実感のDI値は▲26ポイント（-13悪化）、観測のDI値は▲27ポイント（-14悪化）。  
不況感と見通し不安感が倍増。

Q3. 「7～9月の仕入・諸経費」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q4. 「向こう3ヶ月の仕入・諸経費の見通し」についてはいかがですか？



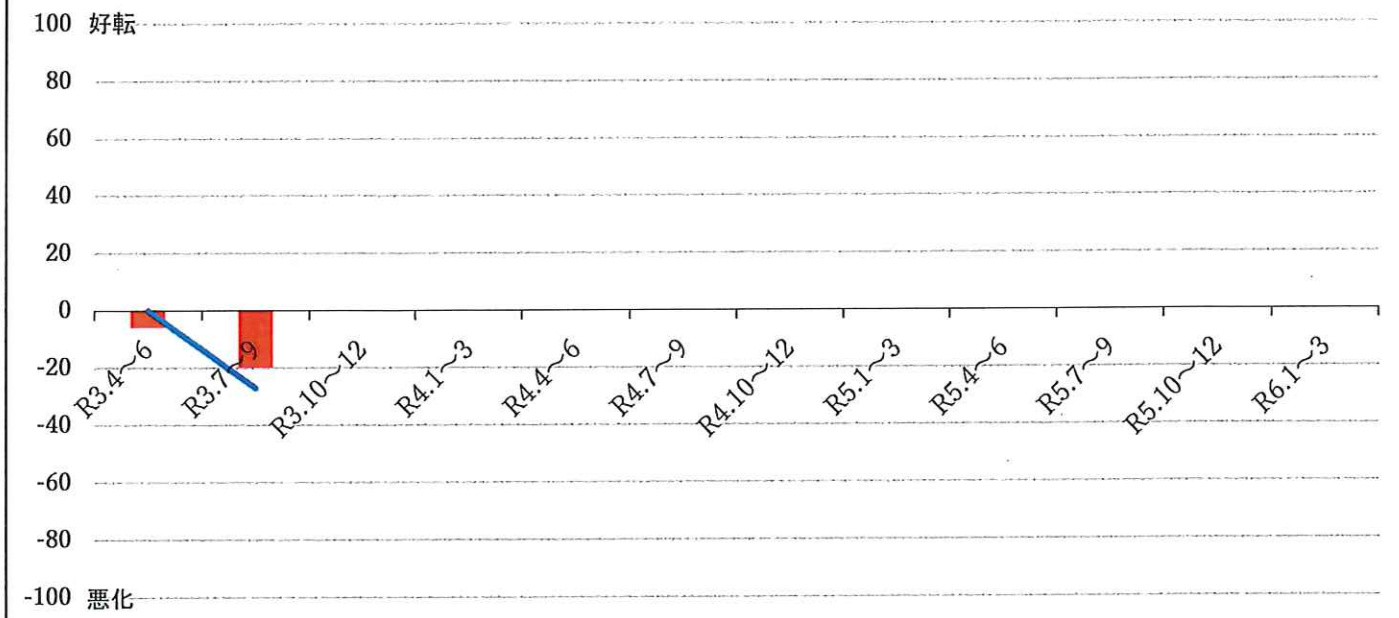
□仕入・諸経費実感のDI値は▲7ポイント（-14悪化）、観測のDI値は▲27ポイント（-27悪化）。  
値上がり感拡大、更に先行きも大きな懸念。

Q5. 「7～9月の資金繰り」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q6. 「向こう3ヶ月の資金繰り」についてはいかがですか？

### 資金繰りDI値

■ Q5のDI値：資金繰り実感      — Q6のDI値：資金繰り観測



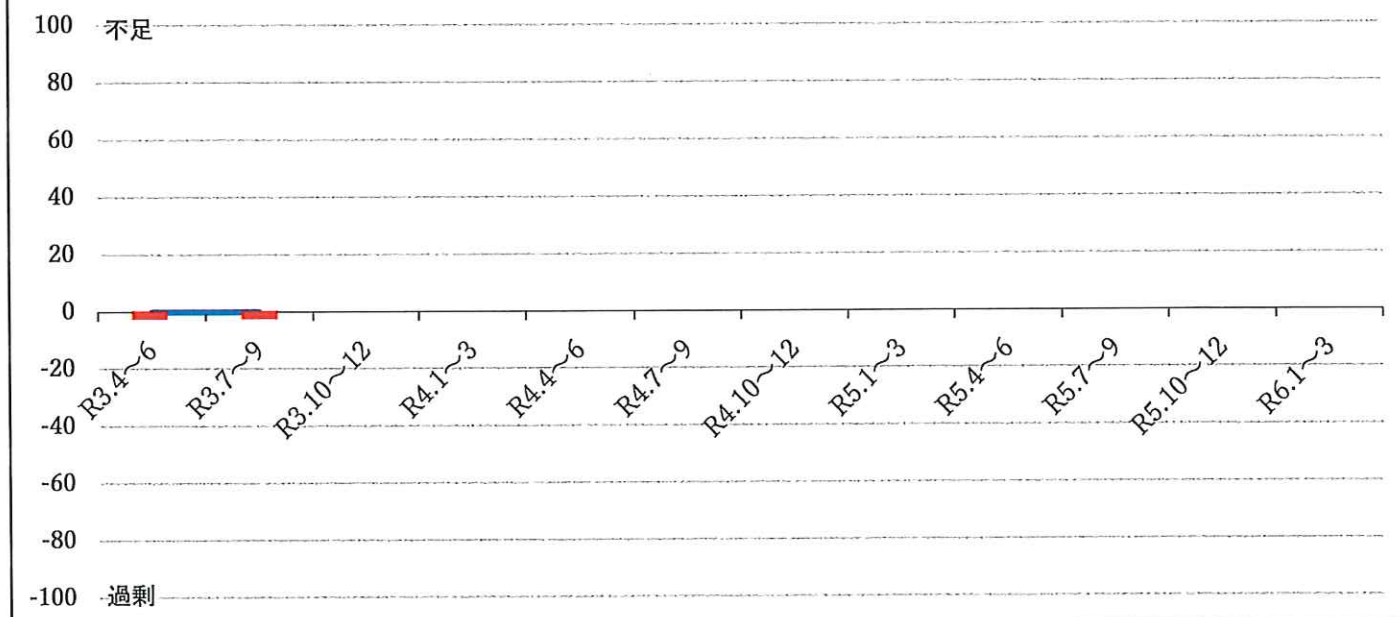
□資金繰り実感のD I 値は▲20ポイント（-14悪化）、観測のD I 値は▲27ポイント（-27悪化）。  
コロナ禍の影響が業界へ浸食、今後の見通しは更に厳しく要警戒。

Q7. 「7～9月の従業員数」についてお尋ねします。前年7～9月と比べて状況はいかがですか？

Q8. 「向こう3ヶ月の従業員数」についてはいかがですか？

### 従業員数DI値

■ Q7のDI値：従業員数実感      — Q8のDI値：従業員数観測



□従業員数の実感D I 値は0ポイント（±0）、観測のD I 値は0ポイント（±0）。  
人手の過不足無し。



